

科目名 (英)	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
学科・コース	ホテルマネジメント・スーパーコンシェルジュ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル運営に関する実務知識を幅広く習得するため、「ホテルビジネス実務検定(H検)ベーシックレベル2級」の取得を目指して学習します。 ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で過去問題を解き、試験への耐性をつけていきます。</p> <p>※実務経験：藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。 ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格。 ②ホテルの各セクションで求められているニーズや提供すべきサービスも変わるため、ホテル運営に関する実務知識やオペレーションを理解し、知識の底上げをすることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：自己紹介 講義とホテルビジネス実務検定の概要、合格のメリット、受験の心構えについて周知、理解することができる
2回目	第1章 ホテルの基礎 (観光業界の概況、ホテルの語源、偉大な2人のホテリエ)を理解することができる
3回目	第1章 ホテルの基礎 (米国のホテル史を飾る創業者・経営者、アジアにおけるホテルの発展)を理解することができる
4回目	第1章 ホテルの基礎 (日本の観光産業、ホテルの歴史)を理解することができる
5回目	第1章 ホテルの基礎 (ホテル産業の概要)を理解することができる
6回目	第1章 ホテルの基礎 (国際的慣習、ホスピタリティの本質、接客用語の基礎)を理解することができる
7回目	第1章 ホテルの基礎 (ホテル英会話①)を理解することができる
8回目	第1章 ホテルの基礎 (ホテル英会話②)を理解することができる
9回目	第2章 宿泊部門 (宿泊部門の概要、組織と役割)を理解することができる
10回目	第2章 宿泊部門の知識 (宿泊約款、施設・設備の知識、宿泊商品)を理解することができる
11回目	第2章 宿泊部門 (主なセクション業務)を理解することができる
12回目	過去問題集にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
13回目	第1章、第2章のまとめと前期評価試験対策
14回目	評価週
15回目	フィードバック 再追試験
準備学習 時間外学習	①テキストは必ず持参すること。 ②合格することをイメージし、予習・復習の時間(1日5分でもいいです)を取ること。 ③わからないところはスルーしないで質問すること。
評価方法	筆記試験：100%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます！ テキストの厚みに圧倒されると思いますが、講義では検定試験によく出るポイントを絞ってわかりやすく丁寧に教えるので安心して臨んでください。学んだことは必ず現場で役に立つのと、厳しい検定試験に合格すれば自信が持てます。一緒にベーシックレベル2級合格目指して頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター 【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター</p>	

科目名 (英)	ホテル概論 Accommodation business training II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 俊子
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 国内外のホテルについて学び、有名なホテルの名称や特徴を学びます。							
※実務経験：(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティ英語指導を10年以上経験。全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。							
【到達目標】 東京、大阪、京都、沖縄、九州の有名なホテルの正式な名称とその特徴が言えるようになる。 福岡のホテルの歴史と現在を知ることができる 外資系と国内系のホテルの違いを知ることができる							

授業計画・内容	
1回目	授業の進め方とこの授業の目標を知ることができる
2回目	東京の御三家ホテル(帝国、オータニ、オークラ)を知ることができる
3回目	帝国ホテルの歴史とサービスの特徴を知ることができる
4回目	福岡市内のホテルの歴史と今を知ることができる
5回目	東京の外資系ホテルを知ることができる
6回目	東京ディズニーリゾートの直営とオフィシャルホテルを知ることができる
7回目	大阪のホテルを知ることができる
8回目	京都のホテルを知ることができる
9回目	九州のホテルを知ることができる
10回目	沖縄のホテルを知ることができる
11回目	ホテルのレストランはなぜ高いかを知ることができる
12回目	ホテルのアmenitiesを知ることができる
13回目	前期のまとめとすることができる
14回目	テスト実施
15回目	テストの返却とフィードバックをして自分の学習習熟度とウイークポイントを理解することができる
準備学習 時間外学習	自分で福岡市内のホテルを見てまわること。そしてその際、メモをとって記憶にとどめること
評価方法	授業態度 30% 筆記試験 70%
受講生への メッセージ	ホテルは楽しいところです。なぜ楽しいのかを知るために情報を集めましょう
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルレジメ	

科目名 (英)	マナープロトコール(3級) MannerProtocol(3rd level)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	加藤亜紀先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすい工夫を凝らした講義内容にしています。「予習シート」で予習を行い、授業に参加する準備ができた状態で学習に取り組むことができます。各章が終われば「確認テスト」、問題集、模擬試験等で学習成果を確認し、理解不足の部分は再度復習を行い授業の中で受験対策もしっかりと行っていきます。学習の成果として最終的に文部科学省後援「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指します。 ※実務経験:講師歴23年。大学、専門学校、ニチイ学館で講義を行う。大学病院、医療機関、企業、学校での接遇研修。裏千家専任講師 茶名宋紀。							
【到達目標】 マナープロトコール検定3級の対策授業を通じて、国内外のマナー&プロトコールを身に付け資格取得ができる。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができる。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人としての新たなスタートを切ることができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(講師自己紹介、講義内容、検定試験についての説明)。マナーとは何か、「マナー」「エチケット」「プロトコール」の違いを理解する。好印象を与えるコミュニケーションについて理解し(第一印象の重要性、挨拶、お辞儀、所作)実践練習を行い、身につけることができる。
2回目	マナーの歴史と意味、西洋のマナー、アジアのマナーの成立を歴史や宗教的な関わりを知ることでマナーが確立された背景について理解を深めることができる。国際人としてのプロトコールの原則、具体的な席次例について学ぶことで、ホテルのご案内にも活かすことができるようになる。
3回目	パーティの種類や特徴を理解することで、実際にホテルで行われるパーティの意味を理解し、適切な行動ができるようになる。西洋と日本での挨拶の仕方の違い、紹介の順序、海外の贈り物、レディファーストについて学ぶことでスムーズな紹介や外国人に対する配慮ができるようになる。
4回目	国旗の扱いや掲揚順序を理解することで、国際行事においても国旗に興味を持てるようになる。国や宗教による価値観について学ぶことで、海外の方に配慮する気持ちが持てるようになる。聴き方、話し方について学ぶことで、コミュニケーションのスキルアップに繋げることができる。
5回目	敬語について学ぶ。尊敬語、謙譲語、丁寧語の置き換え例や訂正問題、クッション言葉の使い方を敬語のプリントを使用し、例題を実際に考え、書いてみることで敬語の理解を深める。生活の中でも敬語の使い方を考えて活用できるようにする。
6回目	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
7回目	中間テスト(ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う)・振り返り
8回目	礼装の基準(スライド視聴)、洋装・和装の礼装、パーティでの服装を学ぶことで場面に応じた服装の必要性を理解することができる。喜ばれる贈答品、贈り物のルールを理解し、場面に応じて適切な祝儀袋、不祝儀袋が選べ、表書きが書けるようになる。
9回目	手紙のマナー、手紙の基本構成を学び、実際に手紙を書いてみることで、自信を持って手紙を書くことができるようになる。演習として、お世話になった人に手紙を書いてみる。
10回目	礼装の基準、喜ばれる贈答品、手紙のマナーの問題を解き、復習する。ビジネスシーンのマナー① 社会人に必要なプロ意識、効果的な仕事の進め方、報告連絡相談の基本、名刺交換(実践練習)。ビジネスパーソンとして適切な振る舞いができるようになる。
11回目	ビジネスシーンのマナー②電話応対、来客応対、ご案内、出迎えと見送りのマナーでは、ロールプレイングを行い、電話応対、ご案内の仕方、お茶の出し方を身につけることができるようになる。
12回目	ビジネスシーンのマナー③ビジネス文書の構成を学ぶ。実際にビジネス文書を作成することで構成を理解することができるようになる。ビジネス文書とメールの文書構成の違いを知ることができる。ビジネスシーンのマナーまとめ、問題集を解くことで理解を深めることができる。
13回目	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
14回目	期末テスト
15回目	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	自宅学習:次回授業の該当部分の「予習シート」を解き、授業に参加する。(行う予習シートは講師が前の授業で指示する)進んだところまで問題集を使用し復習する。学習した部分を復習ワークシートを使って復習する→定期的に提出をさせ、確認する。
評価方法	①中間テスト、期末テストの点数 80%(検定試験と同様の形式での筆記試験) ②授業態度・提出物を期日までにきちんと提出する 20%
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール(国際儀礼)について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで、就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業等、接客・サービスの第一線で活かすことができるでしょう。目標は文部科学省後援「マナー・プロトコール検定3級」の合格です。検定試験に合格できるように一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 「マナー&プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行	

科目名 (英)	メンタルヘルスケア Mental health care	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	加藤 亜紀先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							火曜日1限目
<p>心を整理し、自分が心地よく過ごせるように「気づき」から実行に移せる講義を行います。生徒同士のコミュニケーションも大切にし、グループワークやディスカッションを取り入れ、他者の考えや意見からも感じたことをコミュニケーションの取り方に活かして、自分が生きやすい空間の作り方を考えられる授業を行います。</p> <p>※実務経験：ニチイ学館にて20年間、大学病院や病院、クリニックでの接遇研修を行う。(医師、看護師、医療事務者、臨床検査技師等の他部署のスタッフも対象)病院研修は、メンタルが弱っている患者様、患者様のご家族への対応になり、健常者の接遇とは違う配慮が必要です。また、現場スタッフ対象のため切実な事例で具体的な対応についての研修を行ってきました。動物病院看護師を目指す生徒たち50名(2クラス)、海洋系の仕事をを目指す生徒15名に「ホスピタリティ」の授業を行う。美容専門学校生徒86名(2クラス)の生徒達に「コミュニケーションマナー」の授業を行う。裏千家専任講師 茶名宋紀。</p> <p>【到達目標】</p> <p>自分自身の心身の健康の為に必要な知識や行動を知り、自分の整え方を学び実践することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、自己紹介からのコミュニケーション。(好きな方を選択し、同じグループで集まってみる。いつもと違う仲間を発見することができる。) 「できたことノート」を書き、「やった」ではなく「できた」で肯定感を高めることができる。やる気が習慣化し、意欲的になることができる。
2回目	ジャーナリング:文字を通して自分と向き合うことで気持ちを整理し、ストレス軽減やクリエイティビティ向上に効果的な方法を学ぶことができる。 リフレーミング:自分の短所を書き出しで長所に変換してみる。自分を知り、自己肯定感を持つ。
3回目	ストロークの法則を知る:プラスのストローク、マイナスのストロークを書き出して、ストロークについて知ることができる。相手のいいところを見つける訓練で、ストレスが減ることを実感することができるようになる。誉め言葉をストックして、プラスのストロークのサイクルを作ることができる。
4回目	心のコップを自己点検してみる:心にマイナスのストロークを取り除き、プラスに変える。傷つくことは、自分を成長させるチャンスであることに気づくことができるようになる。「傷ついたときこそ、成長のサイクル」をつかむことができる。返し方でプラスの受け上手になることができる。
5回目	アサーション:さわやかな印象を与える自己表現を学ぶ。心の葛藤に気づき「ノー」と言える勇気を持つ。相手を尊重し、自分の意見も言える上手な断り方ができるようになる。自分の持つ頑固なビリーブを柔軟なビリーブに置き換えることで物事の捉え方を柔軟にし、楽に生きられるようになる。
6回目	アンガーマネジメント:怒りをどうコントロールし表現するのか。「怒り」は隠された「心の痛み」。上手に怒りを伝える方法を学ぶことでストレスを溜めずに自己主張もできるようになる。自分のネガティブ感情とポジティブ感情を知り、心を整理することができる。
7回目	足を知る(お茶の心):できないこと、欠けていることばかりに人は目がいくが、「今のままで十分」という考えを知ることができる。自己肯定感から心のゆとりを感じる事ができる。この授業で学んだことのまとめを書いてみる。(このまとめがレポート評価の対象になります)
8回目	
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	「できたことノート」をつける。日曜日には今週のベスト「できたこと」を書いてみる。⇒授業で発表してもらおう等講義内容に繋げる。
評価方法	授業態度と最後の授業(7回目)で書くレポート提出80%、授業態度20%で評価
受講生への メッセージ	感じ方や考え方、見方を変えると違う景色になります。自分のストレス解消方法を見つけ、心の整理をしてみましょう。学生生活では、友達をたくさん作って楽しみながら過ごして欲しいと思います。授業では考えたり、迷ったりしながら心地よい方向に進めるように一緒に学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師の資料にての授業	

科目名 (英)	メンタルヘルスケア Mental health care	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田 千恵乃先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢指導インストラクターとして10年、ヨガインストラクターとして3年指導を続けている教員が、ヨガを通し、身体の使い方をお伝えします。 ・解剖学、東洋医学、呼吸法を通じ本来の柔軟性を取り戻せるよう授業を行います。 <p>※実務経験：姿勢指導インストラクター10年、ヨガインストラクター3年</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の身体の使い方を知り、心と身体を健やかに保てるようコントロール出来る。 ・負担のかからない綺麗な姿勢を身につけ第一印象をより良くすることが出来る。 							

授業計画・内容	
1回目	
2回目	
3回目	
4回目	
5回目	
6回目	
7回目	
8回目	基本の座り方、立ち方を習得できる(骨盤の前傾、後傾、ニュートラル)
9回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る(背骨、呼吸法について)
10回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る(上半身)
11回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る(下半身、股関節、足首)
12回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る(四つ這い)
13回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る
14回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る
15回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業内評価+授業態度100%
受講生への メッセージ	初めまして。今年度から担当することになった岡田です。日頃の立ち方、身体の疲れや、スタイルの見え方にも大きく関わっています。かたまっている筋肉と一緒に動かし、心と身体を整えていきましょう!! きつい動きはしないので、運動が苦手な方やヨガをやった事がない方も安心して下さいね。
【使用教科書・教材・参考書】	
毎回、動きやすい服装・自分のタオルとヨガマットの準備をよろしく願いたします。【ヨガマット8F倉庫内から各自持参してください】	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日1・2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。</p> <p>※実務経験: レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務</p>							
<p>【到達目標】 レストラン技能検定を目指すうえで、サービス観点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、レストランサービスのスキルを身に付ける。 実践的にロールプレイングを行い実践で活躍できるレベル。</p>							

授業計画・内容	
1回目	挨拶・歩行動作・離着席時の補助ができるようになる
2回目	入店からゲスト・ホストを考慮した行動と椅子の離着席・溢さない水の注ぎ方・姿勢・足の運び方を学ぶことができる
3回目	シルバーの名称・説明とサーバーの使用方法を理解する事ができる
4回目	入店からメニューのお勧め・注文品の復唱・姿勢・言葉遣い・シルバーセット・溢さないコーヒーの注ぎ方を学ぶことができる
5回目	ゲスト・ホストを考慮した料理提供とサービス雑音軽減を意識したバッシング(片づけ)・トレイの使用方法を理解する事ができる
6回目	課題の抽出と克服
7回目	知識の確認と技術習得の復習
8回目	ソムリエ協会推奨ワイン抜栓
9回目	12分制限時間内での課題終了
10回目	12分制限時間内での課題終了
11回目	9分制限時間内での課題終了
12回目	9分制限時間内での課題終了
13回目	試験対策
14回目	評価週
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験 100%
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	英検対策(レベル別)/英語Ⅱ Eiken measures	必修 選択	必修	年次	1.2	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 月曜・火曜2限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳業実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス)/British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	英検とは / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
2回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
3回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
4回目	英検の過去問題練習
5回目	英検の過去問題練習
6回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
7回目	中間テスト: 英検スピーキング練習
8回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
9回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
10回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
11回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
12回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
13回目	期末テスト/ 英検過去問題 / スピーキング
14回目	期末テスト/ 英検過去問題 / スピーキング
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、単熟語テスト20%、中間テスト20%、期末テスト20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
単語・熟語プリント/ 英検過去問題/ 基礎英文法テキスト テキストブック各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等	

科目名 (英)	英検対策(レベル別)/ 英語Ⅱ Eiken measures / English Language	必修 選択	必修	年次	1・2	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限 / 火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 当校で2020年よりTOEIC、英検対策の授業を受け持ってきた講師が、目標にする英検の級に応じて、主に読解・語彙・リスニングを中心に指導する。リスニング力アップのためには特にフォニックスなどにもフォーカスを当ててピンポイントで指導する。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>6 目指す英検レベルの文法、語彙を身に着けることができる。 リスニングスキルに必要な英語の音声の特質を学び、英語特有の音声に慣れ、リスニング力を上げることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年頭のオリエンテーション。それぞれの目標とする級を自覚しモチベーションを上げる。語彙文法問題に取り組み試験内容に慣れることができる。
2回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
3回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
4回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
5回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
6回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
7回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
8回目	これまでの振り返りテスト(中間テスト)により取りこぼした弱点を知ることができる
9回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
10回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
11回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
12回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
13回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
14回目	前期の振り返りテスト(期末テスト)により取りこぼした弱点を知ることができる
15回目	前期の講評と、学期末のレクリエーション活動(映画視聴など)
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、作文の課題などを出して、提出してもらいます。それは評価に結び付きますので、きちんと期日までに提出していただきます。
評価方法	日頃の授業内のパフォーマンスと提出物 50% 定期テスト(2回) 50%
受講生への メッセージ	インバウンド観光客がますます増加する日本にあつては、英語でコミュニケーションできることが必須の時代になってきています。英検資格取得を目標に、ともにがんばって、みなさんが「英語を得意な自分」になれますようお手伝いします。一緒に英語の山を登ってまいりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「英検過去6回全問題集」「中学校3年間の英語が一冊でしっかりわかる問題集」ほか、必要に応じてプリント	

科目名 (英)	英語 I / 英語 II English Language I・II	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	STEVEN MEYERS先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3限目・火曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験: I have been teaching English in Japan for 21 years, with the primary focus on helping early beginner to intermediate level students develop and improve their English conversation skills. This experience includes: working five teaching contracts with JGSDF – Nursing college (2017–2021) to prepare curriculum, provide instruction and testing for an English Communication course; and twenty-one years teaching Eikaiwa adult classes, private English Adult Group classes, and Japanese corporate English conversation classes.</p> <p>私は日本で21年間英語を教えており、主に初級から中級レベルの生徒の英会話スキルの向上と向上を支援することに重点を置いています。この経験には、陸上自衛隊看護学校との5つの教員契約(2017–2021)での英語コミュニケーションコースのカリキュラムの準備、指導、テストの提供、および21年間の成人向け英会話クラス、成人向けプライベートグループ英語クラス、および日本の企業向け英会話クラスの指導が含まれます。</p>							
【到達目標】							
<p>英語の四技能(読む・聞く、話す、書く)を学び、英語基礎コミュニケーション能力を身に付けグローバルに活躍できるようになる。By learning the four English skills (reading, listening, speaking, and writing), students will acquire basic English communication skills and be able to play an active role on the global stage. This class will exercise all these skills, with an emphasis on speaking and listening.</p> <p>このクラスでは、特に話すことと聞くことに重点を置いて、これらのスキルを養成します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Go over our learning objectives, class content, timeline and syllabus. Discuss study skills and tools to assist you. Introducing yourself – Formal vs Informal (casual) Hobbies and interests. Nicknames.
2回目	Using Personal Titles. Asking and giving personal details (Fictional information will be used in class)
3回目	Asking and giving personal details (continued).
4回目	Countries / Nationality Adjectives (for people and things) / Languages
5回目	Numbers Cardinal vs Ordinal Small and medium-sized number. (0–999)
6回目	Larger Numbers: Thousand, million and billion
7回目	Pronouns and English contractions Places/Rooms at home
8回目	Midterm test. Using present continues tense in conversation.
9回目	Reading, comprehension, and discussion Possessive adjectives
10回目	Describing people and things Descriptive adjectives and their opposites.
11回目	Talking about weather and temperature.
12回目	Talking about family and relations
13回目	Places around town and locations
14回目	Telling the time. Simple and advanced styles. Class Review.
15回目	Final Exam Final exam review, class wrap-up.
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題/宿題 20% 中間テスト 30% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	Welcome to a fun learning experience. The goal of this course combine an instructional learning environment with in-class activities and games that are interesting and enjoyable. 楽しい学習体験へようこそ。このコースの目標は、指導的な学習環境と、興味深く楽しいクラス内アクティビティやゲームを組み合わせることです。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語 I / 英語 II English Language I・II	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生/STEVEN MEYERS先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						曜日・時限	月曜日3限目・火曜日3限目
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 英語の四技能(読む・聞く、話す、書く)を学び、英語基礎コミュニケーション能力を身に付けグローバルに活躍できるようになる。 接客英語をロールプレイング形式で学び、自身で表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	人々の行動を説明できる
2回目	人々の計画や意図を説明できる
3回目	進行中の活動を説明できる
4回目	過去の活動について説明できる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	過去と未来の活動を表現できる
7回目	過去と未来の義務を表現できる
8回目	健康診断や医療アドバイスを理解できる
9回目	時間と期間を表現できる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	助けを提供することができる
12回目	家庭内の問題について話せる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。)※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて「Hospitality English for Careers at Hotels.」教科書を使用します。	

科目名 (英)	キャリアプログラム(随時) career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	新倉 友梨恵
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。

※実務経験:

新倉:ANA福岡空港のグランドスタッフとして5年間勤務。国内国際線の出発到着業務全般・ロードコントロール業務・新入社員研修・外資系エアラインのマニュアルを翻訳し、スタッフへの教育を行うインストラクターとしても従事。

【到達目標】

ホテル・エアライン業界の見学を通じて、ホテルの設備や内装などを学ぶことができる。業界で働いている卒業生との座談会を行い、4年後の自分をイメージすることができる。

授業計画・内容

1回目	2025/4/16新入生歓迎会 13:20-15:00
2回目	4/23 ANAクラウンプラザホテル見学 14:30-15:30
3回目	2025/5/7 なし
4回目	2025/5/14 ベッセルイン博多中洲+福岡空港国内線・国際線 事前学習
5回目	2025/5/21 ベッセルイン博多中洲12:00-13:00、福岡空港国内線見学13:30-
6回目	2025/5/28 なし
7回目	2025/6/11 福岡空港国際線見学会 13:30-14:50
8回目	2025/6/18 ホテル日航見学+辻さん座談会 14:00-15:00
9回目	2025/6/25 AI900オリエンテーション3.4限目
10回目	2025/7/2 ルイガンズ事前学習
11回目	2025/7/9 ルイガンズ見学会 13:30-15:00
12回目	2025/7/16 なし
13回目	2025/8/20 都ホテル事前学習
14回目	2025/8/27 都ホテル見学会 14:00-15:00□
15回目	2025/9/3 なし
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	校外実習の際は身だしなみは整えてきてください・荷物は最小限にお願いいたします・メモができるよう準備をお願いします

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	エアラインメイク Airline makeup	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	エアライングランドスタッフコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						月曜日4時限	
顔の特徴や個性に似合うスタイリング技術の習得や、TPOに合わせたスタイリングができるように学びます。そして業界に必要なメイクの基礎知識を学びます。							
※実務経験:フリーのヘアメイクアーティストとして(20年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
業界で必要とされるセルフスタイリング(ヘアメイク)テクニックを身につける。TPOに合わせて身だしなみを整えることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	科目目標を理解し、ヘアメイクの必要性を考えることができるようになる。
2回目	自分の顔の分析をし、個性を知ることができるようになる。
3回目	自分に合ったスキンケア法、ベースメイクの作り方を知り、実践できるようになる。
4回目	スキンケア、ベースメイクに加えて、自分に合ったアイブロウの描き方を知り、実践できるようになる。
5回目	前回の内容に加えて、自分に合ったアイメイク法を知り、実践できるようになる。
6回目	リップ、チークののせ方、骨格補正の方法を知り、実践できるようになる。
7回目	中間テスト 自分に合ったフルメイクを施すことができるようになる。
8回目	セルフスタイリング① 自分の個性を分析し、スタイリングに生かすことができるようになる。
9回目	セルフスタイリング② 自分の個性を分析し、スタイリングに生かすことができるようになる。
10回目	TPOに合わせたヘアメイク① TPOに合わせてメイクを仕上げ、合わせたヘアスタイリングができるようになる。
11回目	TPOに合わせたヘアメイク② TPOに合わせてメイクを仕上げ、合わせたヘアスタイリングができるようになる。
12回目	TPOに合わせたヘアメイク③ TPOに合わせてメイクを仕上げ、合わせたヘアスタイリングができるようになる。
13回目	業界で求められるセルフスタイリングを習得し、上げることができるようになる。(定期テスト練習)
14回目	定期テスト 業界で求められるセルフスタイリングを上げることができるようになる。
15回目	振り返り、まとめ、苦手部分を克服し、スキルアップを目指す。
準備学習 時間外学習	前授業で学習した内容を忘れないように、次の授業に臨んでください。興味と意欲を持って取り組んでほしいと思います。
評価方法	中間テスト50点・定期テスト50点(合計100点満点) 仕上がりの美しさ、似合わせのテクニック、取り組み方など総合的に評価します。
受講生への メッセージ	自分をセルフスタイリングできるようになるために、まずは自分の顔や個性をしっかりと見つめてみましょう。新しい発見があることを期待しています。楽しんで取り組んでもらえると嬉しいです。
【使用教科書・教材・参考書】	
初回授業で伝えます。筆記用具を持参してください。	

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	新倉 友梨恵 / 高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科/ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。</p> <p>※実務経験: 新倉: ANA福岡空港のグランドスタッフとして5年間勤務。国内国際線の出発到着業務全般・ロードコントロール業務・新入社員研修・外資系エアラインのマニュアルを翻訳し、スタッフへの教育を行うインストラクターとしても従事。 高増: 大分県ブラッサム大分(JR九州ホテルズアンドリゾーツ)に4年間勤務。フロントや電話での接客対応、ロコミや団体予約等の担当を経験。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が学校のルールや規律を知り理解でき基本的な挨拶や返事、生活習慣を整えることができる。 クラス構築をはじめ、全員がお互いを理解して受け入れることができるようになる。 							
授業計画・内容							
1回目	4/16 学生としての心構え、マナー(学校・クラスルールの再確認、シラバス説明、Teamsの使い方) / 健康診断案内						
2回目	4/23 学生としての心構え、マナー(アルバイト、公欠届、GWに向けて) / 生活安全教育① / 個別面談スケジュール(各コースごと)						
3回目	5/7 GWの振り返り / 生活習慣改善教育② / 面談スケジュール確認						
4回目	5/14 生活習慣改善教育③ / 学校イベント・企業訪問に向けての準備・心構え						
5回目	5/21 生活習慣改善教育④ / 学校イベント・企業訪問に向けての準備・心構え						
6回目	5/28 日常行動検査(チームマネジメント)						
7回目	6/11 学校イベントに向けて						
8回目	6/18 学校イベントに向けて						
9回目	6/25 学校イベントに向けて						
10回目	7/2 学校イベントに向けて						
11回目	7/9 学スタ説明会						
12回目	7/16 夏季休暇に向けて(個人目標を立てる、規律とルールを守って安全に過ごせるように) / インフォメーション						
13回目	8/20 夏季休暇の振り返り / 今後のスケジュール確認						
14回目	8/27 期末試験(課題:前期の振り返りを経て、後期の目標と計画をシートにまとめる)						
15回目	9/3 前期の振り返り及び後期に向けて						
準備学習 時間外学習							
評価方法	授業態度 70% グループワーク 30%						
受講生への メッセージ	新しい環境での学校生活がスタートします! 楽しみもあれば不安もあると思いますが、皆さんが安全安心に学校生活を送れるように進めていきます。少しでも気になる事や不安な事は一緒に解決をしながら、有意義な学校生活を共に送りましょう! また、ホスピタリティ分野1年生合同で授業を進めますので、ホスピタリティマインドをもって取り組みましょう!						
【使用教科書・教材・参考書】							
タブレット持参すること							

科目名 (英)	コミュニケーション講座 Communication Guidance	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	島崎満美子 / 平田 美菜子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【授業の学習内容】 接客をするうえで必要な実務知識を深めて、サービスの基本を学びます。意識的にコミュニケーションを考え、スキルを使うことによって、円滑なコミュニケーション・心地良い人間関係を築くことを習得する。 ※実務経験:専門学校にて、コミュニケーション、接客マナー、接客サービス等の講義を行っている講師である。							
【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定合格。 人間関係作りのツールとなるコミュニケーション能力を習得し円滑なコミュニケーションを図ることができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 自己紹介 コミュニケーションとは?
2回目	脳の働き 理論→実践を学ぶことができる
3回目	コミュニケーションと社会 知識→実践を学ぶことができる
4回目	コミュニケーションの誤解 知識→実践を学ぶことができる
5回目	コミュニケーションスキルアップ検定について (コミュニケーションとは 自己表現スキル・自己紹介) 知ることができる
6回目	基本的会話スキル向上をさせることができる(①プロセス、聴く・話すの基本、気持ちや考え方の交換を学ぶ)
7回目	自己表現スキルを身につけることができる(①仕事の上で必要とされる表現技術を学ぶ)
8回目	自己表現スキルを身につけることができる(①仕事の上で必要とされる表現技術 ②アングーマネジメントを学ぶ)
9回目	社会的スキルを身につけることができる(対人行動、対人マナーを学ぶ)
10回目	社会的スキルを身につけることができる(対人マナー②を学ぶ)
11回目	社会的スキルを身につけることができる(対人マナー③を学ぶ・文書作成の実践)
12回目	サービスマインドを身につける(心得、姿勢について学ぶ)
13回目	ソーシャルスタイル 理論について学ぶことができる
14回目	ロールプレイングテスト+レポートを行い自身の習熟度を把握することができる
15回目	総まとめを行い、個の授業を通じて身に付けたことを次につなげることができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	ロールプレイングテスト50% レポート 50%
受講生への メッセージ	コミュニケーションの取り方の方法を学び、実践してみよう。
【使用教科書・教材・参考書】 コミュニケーションスキルアップ検定テキスト	

科目名 (英)	サービスサイエンス概論 Introduction to Service Science	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林田 裕也
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ※実務経験:パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト12年専務取締役、株式会社プライムブランディングデザイン取締役副社長、ホテル旅館運営会社プランアクト取締役副社長による実際に現場で使えるサービスを追求することができる授業です。							
【到達目標】 サービスを単に、既存商品を転送するものではなく、いかに付加価値をつけ顧客を感動させる事ができるかの視点で、サービスサイエンスの知識とスキルを身につける事ができる、またそれを実践できるレベルをゴールとする							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介
2回目	サービスと顧客の行動心理学的アプローチと構造理解 ができる
3回目	無形サービスが顧客へと与える心理的影響力の理解 ができる
4回目	サービスを顧客へ正しく届ける為の基本構造を理解 ができる
5回目	顧客にとって記憶に残る印象と宿泊体験の相互作用について理解できる
6回目	顧客が本当に求めているサービスと、宿側が勝手に届けたいと誤認しているサービスの違いを理解 ができる
7回目	「おもてなし力」は、顧客行動心理学の理解と追求である事を理解できる
8回目	サービス力で無形商品に価値を与え、金銭的価値を高める為の方法が理解 ができる
9回目	サービスが顧客に与える行動心理学的なアプローチを体感 できる
10回目	サービスが顧客に与える行動心理学的なアプローチを自分で構築する事ができる
11回目	サービス商品が顧客に実現させる心の付加価値を体感 ができる
12回目	クレームの基本構造の理解と心理的アプローチへの理解 ができる
13回目	なぜおもてなしには、感動が必要なのか？サービスで感動を作る重要性の理解 ができる
14回目	簡易プレゼンテーション
15回目	簡易プレゼンテーション * 補足授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業への参加姿勢(50%)及びプレゼン評価(50%)
受講生への メッセージ	サービスを顧客へ正しく届ける為の基本構造を理解 ができる事で、自身のサービス力を最大限に顧客へ届けるメカニズムが理解できます。まさにサービスを科学する事で付加価値と行動心理学的な効果的なアプローチができるようになります。今後の宿泊業界で戦っていける大切な知識をお伝えしますので、一緒に頑張りましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	タブレット演習 & ITリテラシー Practice for Tablet&IT literacy	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野太一/新倉 友梨恵
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜4限目/水曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・MS_AzureAI900検定に向けたプログラムに参加しながら現在・未来も必要不可欠となる知識を習得します。 ※実務経験:ITリテラシー理解度テストに合格した教員や専門の期間による授業を行います。</p>							
【到達目標】							
<p>・IT/DXリテラシーに関する基礎知識を学び、正しく理解し活用することができる。 ・個人情報やSNSの特性や危険性について理解することができる。 ・MS_AzureAI900検定合格</p>							

授業計画・内容	
1回目	4/11(金)オリエンテーション、授業内容・シラバスの説明、タブレット状況の確認
2回目	4/18(金)IT/DXリテラシーについて学ぶことができる①
3回目	4/25(金)IT/DXリテラシーについて学ぶことができる②
4回目	6/25(水)3限目 MS_AzureAI900オリエンテーション実施
5回目	6/25(水)4限目 MS_AzureAI901オリエンテーション実施
6回目	6/27(金)MS_AzureAI900自己学習
7回目	7/1(火)MS_AzureAI900自己学習
8回目	7/2(水)MS_AzureAI901自己学習
9回目	7/4(金)MS_AzureAI901自己学習
10回目	7/8(火)MS_AzureAI900自己学習
11回目	7/9(水)MS_AzureAI902自己学習
12回目	7/11(金)MS_AzureAI902自己学習
13回目	7/15(火)MS_AzureAI901自己学習
14回目	7/16(水)MS_AzureAI900検定
15回目	
準備学習 時間外学習	基本的には自宅学習が必要になる科目です。授業以外でもしっかりとオンライン講座を活用しながら資格取得に向けてチャレンジしてください。
評価方法	IT/DXリテラシー理解度テスト60%、MS_AzureAI900検定40%
受講生への メッセージ	皆さん ご入学おめでとうございます！MS Azure AI-900認定試験は、Microsoft AzureのAIサービスに関する基礎知識を証明するための試験です。合格するメリットとしては①キャリアの向上②AIとクラウド技術の基礎知識を証明することで、IT業界でのキャリアアップに役立ちます。また、更新不要の為此の資格は永年有効です。 試験に合格すると、AIとクラウド技術の基礎知識を持つことが証明され、将来の学習やキャリアに大いに役立つでしょう。頑張ってくださいね！
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>・タブレット ・IT/DXリテラシー 冊子・MS_AzureAI900 オンライン教材</p>	

科目名 (英)	プレゼンテーション(パワーポイント)演習 Practice for Presentation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	政木 恵美先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験: 専門学校にてプレゼンテーションや就職、エステティックの講師として従事。							
効果的なパワーポイントの作成方法、自己紹介や各テーマに合わせたプレゼンテーションの仕方を習得できるよう授業を実施します。							
それぞれがプレゼンテーションを実施することやプレゼンテーションのポイントとテクニックを実践的に学び、聞く力と伝える力を伸ばし、人前で話すことに慣れてもらいます。							
【到達目標】							
パワーポイントの基本的な構成や作り方を学ぶことができる。流行りの字体やプレゼンテーション方法をどのように情報収集するのかを学び、時代に合わせたパワーポイントの作成並びに発表資料をつくることができる。作成したパワーポイントを基に発表の練習を繰り返し、相手に伝わるプレゼンテーションの実施ができる。							

授業計画・内容	
1回目	授業の目的説明、人前での自己紹介を通して、今後学ぶプレゼンテーションのヒント、パワーポイント使用の魅力をイメージできるようになる
2回目	プレゼンテーションのポイントとテクニックを理解する。
3回目	プレゼンテーション資料作成の方法、パワーポイントの確認。プレゼンテーションをするまでの計画を立て、アイデアを形に落とし込む
4回目	計画に沿った資料を使って、プレゼンテーションの話方に慣れる。
5回目	話すトレーニング、発表に向けての修正をする。
6回目	ミニプレゼンテーション①パワーポイントを使用してのプレゼンテーションに慣れることができる。プレゼンを見て様々なスキルに気づく。
7回目	フィードバックを通して、グループでどうしたらプレゼンがうまくいくかを共有する。
8回目	グループで考えながら工夫をしながらパワーポイント作成ができるようになる。人前でのプレゼンテーションを行うことで話すことに慣れる。
9回目	グループでのプレゼン発表を行い、複数のプレゼンを見ることで様々なスキルを習得する。
10回目	聞き手に合わせた分かりやすい表現力を習得する。
11回目	プレゼンテーションの資料作りを各自行い、どう自分を表現できるか、考える力がつくようになる。
12回目	プレゼンテーションの資料作り、話す練習を各自行い、相手に伝えるためにはどうすれば良いか考える力がつくようになる。
13回目	プレゼンテーションの話す練習を各自行い、伝え方のポイントを習得する。
14回目	試験(各自作成したパワーポイントなどの資料を使用したのプレゼンテーション)
15回目	試験(レポート)、総評、まとめ
準備学習 時間外学習	基本的には授業内で行う。プレゼン資料作成、情報収集など、授業内で終わらなかった場合は時間外学習。
評価方法	授業の中で行うプレゼンテーション60%、レポート30%、提出物10%での評価とする。
受講生への メッセージ	社会人になると、年齢層の違う先輩方やお客様、取引先の方と話す機会がたくさんあります。また、就職活動で自分をアピールするときも、自分の伝えたいことを正確に伝える力は必要です。必要になった時に慌てて知識を習得するのではなく、早い段階で慣れておくことが大事です。プレゼンテーションに慣れること、効果的なテクニックを習得することを目標に授業をしていきます。プレゼンテーションの授業を通して、人前で話すことに慣れ、話すことに自信をつけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadまたはPC、モニター	

科目名 (英)	ホスピタリティ講座 Hospitality lecture	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
学科・コース	ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティ・マインドを学びます。 また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。</p> <p>※実務経験 藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。大手通信会社での社内インストラクターなど企業や専門学校での講師歴は10年以上。 コミュニケーションや就職講座など幅広く担当している。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ②理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ③学んだことを生かし、日常生活においてもホスピタリティ・マインドを持って行動することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：講義の説明 ホスピタリティ動画を視聴し、感動を与えるサービスについて理解することができる
2回目	日本のおもてなし文化から、サービスとホスピタリティの違いや語源・歴史について理解することができる
3回目	「観察→推理→理解→行動」の4ステップ “他人の視座”を考えることができる
4回目	ホスピタリティの実践① お客様に好感と安心感を持っていただけるよう、基本マナーを身につけ実践することができる
5回目	ホスピタリティの実践② 効果的な「傾聴」の仕方を学習し、実践することができる
6回目	日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性を理解することができる
7回目	顧客満足と顧客ロイヤルティの関係性を理解することができる
8回目	「心のバリアフリー」について考え、障がいの特性やサポートの仕方を理解することができる
9回目	異文化コミュニケーション：「やさしい日本語」を学び、現場で実践することができる
10回目	クレームが起きる原因とお客様のお気持ちを理解し、柔軟に対応することができる
11回目	ハラスメントやコンプライアンスを正しく理解することができる
12回目	課題作成 (PC持参)
13回目	課題作成 (PC持参)
14回目	レポート提出
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つ」ことを意識することが重要です。 また、様々な感動体験や自分の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポートの提出や作成に関して細かいルールがあります。講義の中で説明をしますので理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ホスピタリティは感動を与えるコミュニケーションです。ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動に生かしましょう。 ホスピタリティを身につけるコツは相手に対するちょっとした気遣いの積み重ねです。クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有して感性を磨いたり、 行動を起こすことも心がけてください。 ※講義の内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/ 日本ホスピタリティ推進協会 その他内容に応じてプリント等配布。	

科目名 (英)	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
学科・コース	ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル運営に関する実務知識を幅広く習得するため、「ホテルビジネス実務検定(H検)ベーシックレベル2級」の取得を目指して学習します。 ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で過去問題を解き、試験への耐性をつけていきます。</p> <p>※実務経験 藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。 ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格。 ②ホテルの各セクションで求められるニーズや提供すべきサービスも変わるため、ホテル運営に関する実務知識やオペレーションを理解し、知識の底上げをすることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	第3章 料飲部門 (料飲部門の概要、組織と業務役割)を理解することができる
2回目	第3章 料飲部門 (料飲部門の実務)を理解することができる
3回目	第3章まとめ ・ 過去問題集にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
4回目	第4章 宴会部門 (宴会部門の概要、組織と業務役割)を理解することができる
5回目	第4章 宴会部門 (宴会部門の実務)を理解することができる
6回目	第4章まとめ ・ 過去問題集にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
7回目	第5章 調理部門 (調理部門の概要、組織と業務役割)を理解することができる
8回目	第5章 調理部門 (調理の種類と特徴)を理解することができる
9回目	第5章 調理部門 (西洋料理の基本知識、担当業務①基本ソース～⑦サラダ料理まで)を理解することができる
10回目	第5章 調理部門 (西洋料理の基本知識、担当業務⑧フロマージュ～⑩コーヒー・紅茶まで)を理解することができる
11回目	第5章まとめ ・ 過去問題集にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
12回目	検定対策 (マークシート記入練習)
13回目	後期評価試験対策
14回目	評価週
15回目	フィードバック 再追試験 ※検定試験に向けて評価基準を確認し、モチベーションアップを図る
準備学習 時間外学習	①テキストは必ず持参すること。 ②合格することをイメージし、予習・復習の時間(1日5分でもいいです)を取ることを。 ③わからないところはスルーしないで質問すること。
評価方法	筆記試験 : 100%
受講生への メッセージ	前期に引き続き、しっかりポイントを押さえて効率的に学習しましょう。 本試験では200問の問題を90分で解きます。過去問を何回も解いて、試験に対する耐性をつけましょう。(やればやっただけ結果が出せません!)
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター 【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター</p>	

科目名 (英)	英語 I English Language	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ODEGBARO TUNDE / MONESTESDAVID
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 曜日・時限 木曜日3・4時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 教科書を使いながら文法と語彙を学び、そしてその知識を生かせる様々なアクティビティで実践を優先するコースです。ロールプレイやゲームなどをやりながら基本の基本を習得しましょう。</p> <p>※実務経験: ※実務経験: 2021年～オンラインで外国語の教師を務める。また九州日仏学館で約1年勤務したのちに、2023年から当校で講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】 皆さんが日常のトピックについて自信を持って話せるようになることを目的としています。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Learnings objectives: Say where you're from/ Ask for and give personal information. (教科書1.1 and 1.2)
2回目	Learnings objectives: Check into a hotel / Write a profile / Meet new people. (教科書1.3, 1.4 and 1.5)
3回目	Learnings objectives: Talk about your family / Describe friends and family. (教科書2.1 and 2.2)
4回目	Learnings objectives: Talk about ages and birthdays/ Write a post about friends in a photo / Compare information about friends and family. (教科書2.1, 2.2 and 2.3)
5回目	Learnings objectives: Talk about your home /Talk about furniture. (教科書3.1 and 3.2)
6回目	Learnings objectives: Offer and accept a drink and snack /Write an email about home-share / choose things for a home (教科書3.3, 3.4 and 3.5)
7回目	Review of units 1-3
8回目	Learnings objectives: Talk about your favorite things / Say how you use technology. (教科書4.1 and 4.2)
9回目	Learnings objectives: Talk about how you communicate / Write product reviews / Talk about your favorite music. (教科書4.3, 4.4 and 4.5)
10回目	Learnings objectives: Talk about weekday and weekend activities / Tell the time and talk about your routines. (教科書5.1 and 5.2)
11回目	Learnings objectives: Show you agree and have things in common / Write a report about your activities / Compare different work weeks. (5.3, 5.4 and 5.5)
12回目	Learnings objectives: Talk about places in the city / Talk about nature in your area. (教科書6.1 and 6.2)
13回目	復習
14回目	試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	完璧さを目指してはいけません。間違いながら話すことは目的にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Evolve 1	

科目名 (英)	英語 I English Language	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ODEGBARO TUNDE / MONESTESDAVID
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 専門学校にて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容	
1回目	現在、過去、そして将来の行動を説明できる
2回目	友情、誕生日、プレゼントなどについて話することができる
3回目	食べ物を買うことについて話せる
4回目	食べ物の好みを説明できる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	レストランで食べ物を注文できる
7回目	料理のレシピについて話することができる
8回目	未来や確率について話せる
9回目	可能性について話したり、警告したりできる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	デパートで買い物ができる
12回目	道を尋ねて、街中を移動したり、公共交通機関を利用したりできる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。	

科目名 (英)	英検対策 Eiken measures	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス) / British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
2回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
3回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
4回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
5回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
6回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
7回目	中間テスト/レッスン1～レッスン6までの課題・単語テスト・プリント提出
8回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
9回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
10回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
11回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
12回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
13回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
14回目	期末テスト/レッスン1～レッスン13までの課題・単語テスト・プリント提出
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、単熟語テスト20%、中間テスト20%、期末テスト20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
<p>英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本 / 英検5・4・3級合格単語スピードマスター1250 / 10日で出来る中学英語3年年分丸ごと総復習 / 英検100%合格にこだわった本 各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等</p>	

科目名 (英)	英会話 English conversation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	はなだ 東砂
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳業実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス) / British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Speak now 復習/ 英文法プリント復習/英単語プリント復習/接客英語フレーズ復習
2回目	Speak now 復習/ 英文法プリント復習/英単語プリント復習/接客英語フレーズ復習
3回目	Speak now 復習/ 英文法プリント学習復習/英単語プリント学習復習/接客英語フレーズ復習
4回目	Speak now 13, 14, 15/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
5回目	Speak now 16,17,18/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
6回目	Speak now19, 20, 21/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
7回目	中間テスト
8回目	Speak now 22, 23, 24/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
9回目	Speak now 25, 26, 27/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
10回目	Speak now 28, 29, 30/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
11回目	Speak now 31, 32/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
12回目	Speak now 総復習/英語ビジネスレター練習/接客英語フレーズ総復習
13回目	Speak now 復習/英語ビジネスレター練習/接客英語フレーズ復習
14回目	期末テスト
15回目	企画クラス
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、英文法20%、英単語20%、接客英語フレーズ20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	英語の基礎を学びなおしながら、接客英語など、実戦的に使える英語力を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Speak now/英文法プリント/英単語教材等	

科目名 (英)	マナープロトコル(3級) Manner Protocol (3rd level)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	加藤 亜紀
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>NPO法人日本マナー・プロトコル協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。</p> <p>また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容にしています。「予習シート」で予習を行い授業に臨むため授業を理解しやすい状態で学習に取り組むことができます。各章が終われば「確認テスト」、問題集、模擬試験等で学習成果を確認し、理解不足の部分は再度復習を行い授業の中で受験対策もしっかりと行っていきます。学習の成果として最終的に「文部科学省後援マナー・プロトコル検定3級」の合格を目指します。</p> <p>【到達目標】</p> <p>「マナー・プロトコル検定3級」合格を目指します。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができます。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることができます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	和食のマナー: DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことができる。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することができる。
2回目	和室での作法: 和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室での贈答品の渡し方、いただき方等を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。和食のマナー、和室の作法の問題を解き理解を深め、問題に慣れることができる。
3回目	洋食のマナー: DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことができる。自信を持って西洋料理のレストランで食事に臨めるようになる。実際のカタラーリ、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することができる。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることができる。
4回目	第5章までの模擬問題④を解く。自分が苦手な部分を確認し、復習を行う。見直しを行うことで、理解を深めることができる。
5回目	「冠」のしきたり: スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第7章確認テスト解き、理解を深める。
6回目	「婚」のしきたり: スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来に社会人として必要になる知識を身に付けることができる。第8章確認テストを解き理解を深める。
7回目	復習: ここまでの内容について問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認することができる。問題を解く力をつけて、中間テストに臨むことができる。
8回目	中間テスト、解説、振り返り
9回目	「葬」のしきたり: スライドを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで葬儀や法要の知識を身に付けることができる。第9章確認テストを解き、理解を深める。
10回目	「祭」のしきたり: スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで正月から大晦日までの様々な行事について知識を身に付けることができる。第10章確認テストを解き、理解を深める。
11回目	試験対策①: 3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することができるようになる。
12回目	試験対策②: 3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することができるようになる。
13回目	試験対策③: 3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することができるようになる。
14回目	期末試験
15回目	期末試験振り返り・検定試験に向けて問題の再確認
準備学習 時間外学習	予習シートで予習して、授業に臨む。進んだところまで、問題集を使用し、復習する。復習ワークシートを行う。
評価方法	①中間テスト、期末テストの点数 80% ②授業態度・提出物を期日までにきちんと提出する 20%
受講生への メッセージ	前半はよく頑張りました。後期は、食事のマナー、冠婚葬祭を学びます。そして、模擬試験を4回行い、本試験の形式に慣れて行くように指導します。皆さんの頑張ったことを資格という形にしましょう。目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができる資格です。文部科学省後援マナー・プロトコル検定3級合格できるよう後半も一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「マナー&プロトコルの基礎知識」、「マナー・プロトコル検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコル協会発行	

科目名 (英)	ホテル概論 Introduction to the Study Hotel	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 俊子
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 海外のホテルをマネジメントする企業でマーケティングやマネジメントを担当した教員がホテルのことをより深く知るために指導す 前期に学んだ各ホテルの特徴をより深くポイントに従って閑雅してみる。</p> <p>※実務経験：(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。</p>							
<p>【到達目標】</p> ターゲット別のホテルの戦略を立てることができる プランを作り、どのように進めたいのかを理解することができる 海外のホテルを知ることができる 販売促進について集客を上げるためのプランを考えることができる							

授業計画・内容	
1回目	前期の復習
2回目	最近の味の動向、新しく開業するホテルの特徴、環境に関する考え方を学ぶ
3回目	インバウンドについて知る。(インバウンドの動き、好み、を知る)
4回目	スモールラグジュアリーのホテルがなぜ最近多く開業しているのかを知る。
5回目	女性の人気のプランを考えることができる
6回目	6ポケット1キッドの子供向けプランを考えることができる。
7回目	高齢者を対象にしたプランを考えることができる
8回目	おひとり様を対象にしたプランを考えることができる
9回目	ネットで変わる予約の方法を知ることができる
10回目	アメリカのラスベガスのホテルを知ることができる
11回目	ハワイのホテルを知ることができる。なぜハワイが人気なのかを考えることができる
12回目	バリ島のホテルを知ることができる。
13回目	シンガポールや香港など、ここを本拠地にするペニンシュラなどのホテルを知ることができる
14回目	テスト
15回目	フィードバック
準備学習 時間外学習	
評価方法	平常点(コメント提出や発表)20% 期末テスト80%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	写真・SNS Photo technique & SNS	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	児玉 のりこ
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 身近で使用されているSNSを中心に運用方法や効果的な活用について学びます。</p> <p>※実務経験: TV・イベント制作会社、広告代理店勤務、企業SNS配信担当の経験から、実践的に活用できる、写真・SNS基礎知識とweb色彩やデザインの基礎をふまえて画像制作まで行う。同時に、企業側から消費者へマーケティング目線で有効的な写真&画像制作のポイントも取り入れて学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <p><具体的な目標> SNS上での写真の活用方法、ブランディング、効果的な投稿テクニックを理解します。 実際に写真を取り画像加工ができるようになる。 消費者目線を意識した、SNS種類と配信の知識を学び目的別に活用できるようになる。 最終的には、自分の作品をSNSで効果的に発信できるようになることを目指します</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、講師紹介、他己紹介、SNSについて・バスの投稿は??ワーク
2回目	SNSアプリ種類など学ぶ/活用してできることはどんな仕事&どんな事?ワーク
3回目	写真の基本撮り方、見栄えする写真撮影方法について→次回授業までに写真を撮影しておく
4回目	画像加工について学ぶ/文字入れ・フォントの種類/チーム別ワーク発表
5回目	画像加工について学ぶ/効果的な色使い、配色について/チーム別ワーク発表
6回目	SNS種類、各SNS特徴と使用する時のポイントについて学ぶ/誰に向けての配信(ターゲット)とSNS配信を考えるワーク
7回目	CANVAの紹介・使い方レクチャー→次回授業までに写真を複数枚撮影しておく
8回目	①画像アップロード方法レクチャー/CANVA使用して「Instagram」の画像作成実践作業
9回目	②「Instagram」ビジネスページの説明、画像保存機能・画像の種類について/前回の続き「Instagram」画像作成実践作業
10回目	SNS効果的な投稿について、「Instagram」ハッシュタグ選定方法を学ぶ/該当する業界の投稿を閲覧して必要なタグをピックアップするワーク
11回目	読まれるSNS文章の書き方、投稿時のポイントを学ぶ/「Instagram」投稿を想定して消費者に向けて作品PR文章の実践
12回目	SNSヘッダー効果について/CANVA使用して「X」ヘッダー画像作成実践作業
13回目	「Instagram:ストーリーズ」について、CANVA動画・アニメーション機能を学ぶ/CANVA使用して「ストーリーズ」画像作成実践作業
14回目	評価:お題に基づきCANVAで画像作成
15回目	テスト振り返り、ITリテラシーについて学ぶ
準備学習 時間外学習	日頃見慣れているSNSも、写真の使い方、文章内容、色合い、文字の大きさ等どんな工夫がされているか チェックするようにしてみてください! 今までの見方と変わってきっと新たな発見があります。 いいな!と思った投稿画像を授業の制作作業時に取り入れてみてください。
評価方法	テスト評価70% 授業態度10% 提出物20%
受講生への メッセージ	今や誰もが簡単にSNSを利用できますが、個人と企業(会社)での活用方法は全く異なります。 みなさんには、今後SNSを活用していく企業(会社)側の視点も持てるよう 有効的な発信をして行くための基礎知識を一緒に身に付けて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
※タブレットを毎時間持参してください。	

科目名 (英)	レストランサービス技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。</p> <p>※:実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>レストランサービスを基礎から体系的に学ぶ事で学習を実際の現場での反映できる考え方を学ぶ。管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎知識を身に付けます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
2回目	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
3回目	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
4回目	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
5回目	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
6回目	課題の抽出・中間試験対策
7回目	中間試験(筆記)
8回目	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
9回目	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
10回目	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
11回目	西洋料理の食器用具・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる
12回目	課題の抽出・試験対策
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>西洋料理 料飲接客サービス技法</p>	

科目名 (英)	宿泊業務演習Ⅰ / マーケティングⅡ / ITマネジメント	必修 選択	必修	年次	2・4	担当教員	林田 裕也
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験:パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト12年専務取締役、株式会社プライムプランディングデザイン取締役副社長、ホテル旅館運営会社プランアクト取締役副社長</p>							
【到達目標】							
顧客行動心理学をベースに、サービス商品の最大価値を引き出す為のスキルを身に付けます。まだ宿泊業界の最新トレンドを紹介しながら未来の宿泊業界で活躍できるマインドを身に付けます。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介
2回目	最新の宿泊業界トレンドを知る事ができる
3回目	宿泊業界におけるブランドとマーケティングの重要性を理解できる
4回目	お客様とのファーストコンタクトの重要性
5回目	お客様との信頼関係を作るパーソナルスペースの把握
6回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービス構成を学ぶ事ができる
7回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービス構成を実際に構築する事ができる
8回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービスを実際に考え、実演する事ができる
9回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービスを実際に考え、実演する事ができる②
10回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービスを実際に考え、実演する事ができる③
11回目	グループワークとして、感動サービスの提案準備
12回目	グループワークとして、感動サービスの提案準備
13回目	グループワークとして、感動サービスの提案準備
14回目	グループワークとして、感動サービスの事前プレゼン準備
15回目	グループワークとして、感動サービスのプレゼンテーション
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業への参加姿勢(50%)及びプレゼン評価(50%)
受講生への メッセージ	今後は、宿泊業界におけるサービスは、感動と顧客マーケティングを使ったスキルと想像力が成長の鍵です。その重要な構成を基本から実際に作成し実演までを学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フードビバレッジ I Beverage foundation I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	村岡 あゆみ / 綾垣 陽子
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 木曜日1限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>五感と味覚について学び、それぞれの飲み物に合うメニューを考えます。また、料理同士の組み合わせや、調味料や香辛料についても学習していきます。紅茶は、正しい知識を学び、技術を身につけることで、その味や香り等が全く変わります。また、紅茶と言っても、その種類は4,000～5,000種で、産地によって、大きく特徴が異なり、相性のよい食べ物が変わってきます。授業では美味しい飲み方・楽しみ方の知識を深め、現場にも役立つ、実用的な知識の習得します</p> <p>※実務経験: 村岡あゆみ: 病院にて管理栄養士として10年勤務。現在、料理代行、洋菓子開発、飲食店メニュー提案、子供向け料理教室を行う。 綾垣陽子: 1996年より福岡・佐賀を中心にテレビ、ラジオの番組のMC・リポーターとして活動。複数の料理番組や中継コーナーを担当。2000年から4年間JAふくおか、女の提供番組のメインパーソナリティーを担当し、種まきから収穫・加工品の製造・新商品開発などに参加。 結婚式場やお料理教室、カフェなどのシーズン毎のメニュー選定、テーブルコーディネートに携わる。 2019年紅茶アドバイザーの資格を取得し、講師として、企業で講義やイベントを開催。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>五感や味覚について知ることができる 飲み物の種類を知ることができる 料理と飲み物の組み合わせを考慮することができる 紅茶の基礎を講義と実習で学びます <具体的な目標>①美味しい紅茶の淹れ方を身につける ②おもてなし力をつける(コーディネートや小物の使い方)</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(自己紹介、授業内容、評価について)
2回目	五感について知ることができる
3回目	世界の食文化と食物アレルギーについて、理解をすることができる
4回目	日本茶の種類について学び、合うメニューを考慮することができる
5回目	中国茶の種類について学び、合うメニューを考慮することができる
6回目	コーヒーについて学び、合うメニューを考慮することができる
7回目	ソフトドリンクの種類について学び、合うメニューを考慮することができる
8回目	調味料や香辛料について学び、合う飲み物を考慮することができる。
9回目	料理同士の組み合わせを考慮することができる
10回目	飲み物同士の組み合わせを考慮することができる
11回目	まとめ
12回目	評価試験
13回目	紅茶の基礎知識 ホットティーの淹れ方(綾垣)
14回目	アイ스티ー・ミルクティーの基礎と淹れ方(綾垣)
15回目	アフタヌーンティーの歴史・マナー(綾垣)
準備学習 時間外学習	期末テスト100%(筆記試験)
評価方法	
受講生への メッセージ	身近な食べ物や飲み物の組み合わせを実践しながら、考えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	(選)フランス語・文化 French Language	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	MONESTES DAVID先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) フランス語とフランス文化の入門:すぐ使える基礎の文法と語彙。毎回フランス語の習得だけでなく、フランス社会の特徴についても解説していきます。							
※実務経験: 2014年11月 福岡市にて有限会社チョコレートショップに勤務 2019年4月 退職 2019年9月 福岡市にて屋台レミさんちに勤務 2021年6月 退職 2021年6月 個人としてオンラインでフランス語教師 2022年6月 九州日仏学館にて勤務 2023年4月 福岡ホテルウエディング&IR専門学校にて英語の教師として勤務							
【到達目標】 フランス語で自己紹介、趣味など日常での基本的なコミュニケーションを取ることができるようになる。フランスの国・歴史・文化について学び、日本との関りや文化・風土の違いを理解できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション内で15回の授業内容を確認することができる。フランス語を習得するメリットやフランスについて知ることができる。挨拶・名前・基本的な発音とアルファベットを知ることができる。
2回目	名前の綴り・数字・男性と女性名詞。ヨーロッパに属するフランスについて学ぶことができる。
3回目	自己紹介:国籍そしてêtre動詞。フランス語圏とはどこなのかを知ることができる。
4回目	出身地・職業・住んでいる都市を伝える際の表現方法を学び、発音することができる。カレンダーと仕事生活
5回目	話せる言語・専攻・好きなことを言う(1)。バカンスとは
6回目	話せる言語・専攻・好きなことを言う(2)。買い物をする
7回目	他己紹介・住んでいる国(1)。フランスの食文化について知り、フレンチ料理の成り立ちを理解できる。
8回目	他己紹介・住んでいる国(2)。主なお祝いとはどんなものがあるのか学ぶことができる。
9回目	持ち物avoir動詞・年齢の表現方法を学ぶ。パリについて知ることができる。
10回目	持ち物、数字。フランスのお城の文化について学ぶことができる。
11回目	日常について話す・faireとaller動詞(1)。日本とフランスの関係について知ることができる。
12回目	日常について話す・faireとaller動詞(2)。フランスの人気な映画について知ることができる。
13回目	試験前対策を行い、試験に備えることができる。
14回目	筆記試験を通じて自身の習熟度を理解できる。
15回目	学んだことを総復習し、学んだ内容をフランス語を取り入れながらスピーチすることができる。
準備学習 時間外学習	復習と宿題あり
評価方法	筆記試験60% 授業態度 40%
受講生への メッセージ	楽しくフランス語に触れてみましょう!
【使用教科書・教材・参考書】 教科書やオリジナルのコンテンツやゲームなど	

科目名 (英)	映像制作・SNS Movie and SNS	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	蒲原 勇
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>①動画作成に関する知識と経験 ②SNSリテラシーと分析 SNSで情報を受け取るだけでなく、自ら発信する力と根拠を身に付けることができます。</p> <p>※実務経験: 映像クリエイターとして12年会社勤務の後、独立起業。現在プライダル/プロモーション映像の作成を主な事業として行っている。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①映像制作のフローを学び、PR意図のある映像制作を作成する事ができる。 ②ターゲットを意識したSNS発信を行うことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	■自己紹介、授業の目的:作成した映像などを見てもらう。実際に動画編集アプリに触れ操作の基本を身に付ける
2回目	■動画作成(序盤):自身で動画のコンセプトを決め撮影・編集ができるようになる。作品フィードバック
3回目	■SNS動画概論:SNS動画の現状と重要性を理解し、説明ができるようになる
4回目	■動画作成の流れ:動画作成のフローを理解し、説明ができるようになる
5回目	■AIの活用と企画書の作成:AIを使用した企画書の作成ができるようになる
6回目	■プレゼンテーション①:企画書を通して、相手に制作意図を伝える事ができるようになる。企画書フィードバック
7回目	■動画作成(中盤):企画書を基にした動画作成ができるようになる。作品フィードバック
8回目	■撮影の基本と応用:撮影の基本や応用の知識を理解し、説明ができるようになる
9回目	■編集の基本と応用:編集の基本や応用の知識を理解し、説明ができるようになる
10回目	■炎上対策とコミュニケーション:炎上事例研究、コメント・DM対応を実践できるようになる
11回目	■投稿最適化と効果測定:インサイト分析を理解し、投稿時間・頻度・ハッシュタグなどを応用できるようになる
12回目	■グループによる企画立案と構成:
13回目	■プレゼンテーション②:企画書を通して、相手に制作意図を伝える事ができるようになる。ディスカッションによるブラッシュアップ
14回目	■動画作成(終盤):企画書を基にした動画作成ができるようになる。
15回目	■完成動画発表、相互評価・フィードバック、質疑応答、総評
準備学習 時間外学習	
評価方法	<p>【個人評価】</p> <p>①実技試験 30%:動画作成(中盤)…動画作成評価 ②筆記試験 40%:SNSリテラシーとインサイト分析の理解</p> <p>【グループ評価】</p> <p>③実技試験 30%:動画作成(終盤)…動画作成評価</p>
受講生への メッセージ	<p>SNSをはじめ様々なプラットフォームで動画を見る機会が増えました。 SNSの正しい知識や写真・動画の効果的な撮影方法/発信方法を知る事はこれからの学生生活や社会人生活を迎える上で必要な知識となります。 一緒に楽しみながら動画の作成を覚えていきましょう!</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英検/TOEIC対策/英会話 ToEIC measures	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 月曜日1時限 / 火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) TOEICは全世界で通用する、ビジネス英語の熟練度を測る試験です。このTOEIC試験の内容をざっと網羅し、リスニングと語彙・文法・読解問題の攻略にあつたの、基礎固めを目指すクラスです。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>【到達目標】 TOEICテストの全貌を学ぶことができる。TOEIC初級でも、とくに得点しやすいリスニングの前半問題と語彙文法問題に数多く取り組むことで、得点力をアップすることができる。 目標得点(3級レベル:400点以上 準2級レベル:500点以上 2級レベル:600点以上 準1級レベル:700点以上)をクリアする実力をつけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年初のオリエンテーション。TOEICテストの内容解説をし取得の意義を伝えることでモチベーションを上げることができる。
2回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
3回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
4回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
5回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
6回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
7回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
8回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
9回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
10回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
11回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
12回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
13回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
14回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
15回目	テストの講評と解説をすることで弱点を知り、その場で修正することができる。
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、語彙の復習ミニテストなどもあります。その時は前の週にお伝えしますので、しっかり復習をしてきてください。
評価方法	授業中のパフォーマンス・ミニテストの得点:50% 中間期末試験:50%
受講生への メッセージ	TOEICは英検とは全く毛色の違う語彙や出題形式をもった国際資格で、独自の勉強が必要です。幅広いスキルが要求されますので、最初は圧倒されるかもしれませんが、まずは基礎となるシンプルなリスニング問題と語彙文法問題を攻略して、しっかり実力をつけていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「TOEIC公式問題集10」 「TOEIC書き込みノート」 そのほか、随時必要に応じてプリント教材	

科目名 (英)	英語 I / 英語 II English Language I・II	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	STEVEN MEYERS先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3限目・火曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験: I have been teaching English in Japan for 21 years, with the primary focus on helping early beginner to intermediate level students develop and improve their English conversation skills. This experience includes: working five teaching contracts with JGSDF – Nursing college (2017–2021) to prepare curriculum, provide instruction and testing for an English Communication course; and twenty-one years teaching Eikaiwa adult classes, private English Adult Group classes, and Japanese corporate English conversation classes.</p> <p>私は日本で21年間英語を教えており、主に初級から中級レベルの生徒の英会話スキルの向上と向上を支援することに重点を置いています。この経験には、陸上自衛隊看護学校との5つの教員契約(2017–2021)での英語コミュニケーションコースのカリキュラムの準備、指導、テストの提供、および21年間の成人向け英会話クラス、成人向けプライベートグループ英語クラス、および日本の企業向け英会話クラスの指導が含まれます。</p>							
【到達目標】							
<p>英語の四技能(読む・聞く、話す、書く)を学び、英語基礎コミュニケーション能力を身に付けグローバルに活躍できるようになる。By learning the four English skills (reading, listening, speaking, and writing), students will acquire basic English communication skills and be able to play an active role on the global stage. This class will exercise all these skills, with an emphasis on speaking and listening.</p> <p>このクラスでは、特に話すことと聞くことに重点を置いて、これらのスキルを養成します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Go over our learning objectives, class content, timeline and syllabus. Discuss study skills and tools to assist you. Introducing yourself – Formal vs Informal (casual) Hobbies and interests. Nicknames.
2回目	Using Personal Titles. Asking and giving personal details (Fictional information will be used in class)
3回目	Asking and giving personal details (continued).
4回目	Countries / Nationality Adjectives (for people and things) / Languages
5回目	Numbers Cardinal vs Ordinal Small and medium-sized number. (0–999)
6回目	Larger Numbers: Thousand, million and billion
7回目	Pronouns and English contractions Places/Rooms at home
8回目	Midterm test. Using present continues tense in conversation.
9回目	Reading, comprehension, and discussion Possessive adjectives
10回目	Describing people and things Descriptive adjectives and their opposites.
11回目	Talking about weather and temperature.
12回目	Talking about family and relations
13回目	Places around town and locations
14回目	Telling the time. Simple and advanced styles. Class Review.
15回目	Final Exam Final exam review, class wrap-up.
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題/宿題 20% 中間テスト 30% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	Welcome to a fun learning experience. The goal of this course combine an instructional learning environment with in-class activities and games that are interesting and enjoyable. 楽しい学習体験へようこそ。このコースの目標は、指導的な学習環境と、興味深く楽しいクラス内アクティビティやゲームを組み合わせることです。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語 I / 英語 II English Language I・II	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生/STEVEN MEYERS先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						曜日・時限	月曜日3限目・火曜日3限目
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 英語の四技能(読む・聞く、話す、書く)を学び、英語基礎コミュニケーション能力を身に付けグローバルに活躍できるようになる。 接客英語をロールプレイング形式で学び、自身で表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	人々の行動を説明できる
2回目	人々の計画や意図を説明できる
3回目	進行中の活動を説明できる
4回目	過去の活動について説明できる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	過去と未来の活動を表現できる
7回目	過去と未来の義務を表現できる
8回目	健康診断や医療アドバイスを理解できる
9回目	時間と期間を表現できる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	助けを提供することができる
12回目	家庭内の問題について話せる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。)※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて「Hospitality English for Careers at Hotels.」教科書を使用します。	

科目名 (英)	英検対策(レベル別)/英語Ⅱ Eiken measures	必修 選択	必修	年次	1.2	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 月曜・火曜2限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳業実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス)/British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	英検とは / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
2回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
3回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
4回目	英検の過去問題練習
5回目	英検の過去問題練習
6回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
7回目	中間テスト: 英検スピーキング練習
8回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
9回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
10回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
11回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
12回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
13回目	期末テスト/ 英検過去問題 / スピーキング
14回目	期末テスト/ 英検過去問題 / スピーキング
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、単熟語テスト20%、中間テスト20%、期末テスト20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
単語・熟語プリント/ 英検過去問題/ 基礎英文法テキスト テキストブック各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等	

科目名 (英)	英検対策(レベル別)/ 英語Ⅱ Eiken measures / English Language	必修 選択	必修	年次	1・2	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限 / 火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 当校で2020年よりTOEIC、英検対策の授業を受け持ってきた講師が、目標にする英検の級に応じて、主に読解・語彙・リスニングを中心に指導する。リスニング力アップのためには特にフォニックスなどにもフォーカスを当ててピンポイントで指導する。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>6 目指す英検レベルの文法、語彙を身に着けることができる。 リスニングスキルに必要な英語の音声の特質を学び、英語特有の音声に慣れ、リスニング力を上げることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年頭のオリエンテーション。それぞれの目標とする級を自覚しモチベーションを上げる。語彙文法問題に取り組み試験内容に慣れることができる。
2回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
3回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
4回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
5回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
6回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
7回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
8回目	これまでの振り返りテスト(中間テスト)により取りこぼした弱点を知ることができる
9回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
10回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
11回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
12回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
13回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
14回目	前期の振り返りテスト(期末テスト)により取りこぼした弱点を知ることができる
15回目	前期の講評と、学期末のレクリエーション活動(映画視聴など)
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、作文の課題などを出して、提出してもらいます。それは評価に結び付きますので、きちんと期日までに提出していただきます。
評価方法	日頃の授業内のパフォーマンスと提出物 50% 定期テスト(2回) 50%
受講生への メッセージ	インバウンド観光客がますます増加する日本にあっては、英語でコミュニケーションできることが必須の時代になってきています。英検資格取得を目標に、ともにがんばって、みなさんが「英語を得意な自分」になれますようお手伝いします。一緒に英語の山を登ってまいりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「英検過去6回全問題集」「中学校3年間の英語が一冊でしっかりわかる問題集」ほか、必要に応じてプリント	

科目名 (英)	手話/業界研修Ⅲ Sign language	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	上田 直子 / 村上 奈緒美
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。
聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。

※実務経験:福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある。

【到達目標】

- ・手話で自己紹介を表現することができる
- ・きこえない人とのコミュニケーション手段を説明することができる
- ・いろいろな職業で使えるような接客用語を表現することができる

授業計画・内容	
1回目	第1講座 「ろう者の生活」
2回目	第2講座 伝え合ってみましょう 手の動きや表情で伝え合えることができる
3回目	第3講座 自己紹介をしましょう 手話で名前を表現できる
4回目	第4講座 自己紹介をしましょう 手話で家族を表現できる
5回目	第5講座 自己紹介をしましょう 手話で数を表現できる
6回目	第6講座 自己紹介をしましょう 手話で趣味を表現できる
7回目	第7講座 自己紹介をしましょう 手話で仕事を表現できる
8回目	第8講座 自己紹介をしましょう 手話で住所を表現できる
9回目	第9講座 まとめ 自己紹介を手話で話すことができる
10回目	第10講座 話してみよう！ 1日のことを手話で話すことができる
11回目	第11講座 話してみよう！ 1か月のことを手話で話すことができる
12回目	第12講座 話してみよう！ 1年のことを手話で話すことができる
13回目	総合復習
14回目	試験
15回目	手話スピーチ
準備学習 時間外学習	復習してください
評価方法	・出席率 40% ・筆記試験 30% ・手話の読み取り試験 30%
受講生への メッセージ	手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

手話奉仕員養成テキスト 手話で学ぼう手話で話そう

科目名 (英)	就職講座 I / 企業プロジェクトA Work Seminar I	必修 選択	必修 選択	年次	2・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日2限目
【授業の学習内容】							
就職活動の全体図を認識し、考え方や意識改革、視野の拡大を図り、社会人として求められることや自分自身の夢を叶えるために必要な要素を洗い出します。正未研究の自己分析の方法、時事問題へのアプローチの考えを踏まんに就職活動への活かし方を学び、「傾聴」の対話の中で自己分析の糸道を築きます。							
【実務経験】							
全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接客・アナウンス等教育、運航支援、搭乗管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社子ども英語教室、大手老舗百貨店外売場、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】							
就職試験の対策基礎(就職活動の流れ・企業研究方法・自己分析・時事問題)を学び、理解し、内定取得に向けての準備ができる。 研究結果について他者と意見を交換し、多角的な視点で考察する力を培うことができる。 日頃から時事問題を「自分事」と捉え、自分なりの意見やアイデアを持ち、就職試験において臨機応変にオリジナルの意見を出せる基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションを通して就職活動の全体図を思い描ける。学生(アルバイト)と社会人の違いを理解し、将来の人生設計について考察できる
2回目	目標をカテゴリー別に設定し、自己分析と必要な要素・知識を明確にできる
3回目	PDCAサイクルを学習姿勢に応用し、様々な行動の基軸とすることができる
4回目	PREP法を引用して日頃から論理的思考および表現ができるようになる
5回目	就職試験で求められる一般常識や学力レベルについて理解できる 情報収集のポイントとアプローチの方法を理解できる
6回目	時事問題へのアプローチの方法を理解し、対策を実践することができる(練習回)
7回目	与えられたテーマの時事問題を考察・発表し、他者と意見交換しながら創造的思考力をつけることができる①
8回目	与えられたテーマの時事問題を考察・発表し、他者と意見交換しながら創造的思考力をつけることができる②
9回目	企業研究の方法とポイントを理解し、実践・考察することができる
10回目	異なる2社を比較し、企業間の差異と研究の必要性を実感できる①
11回目	異なる2社を比較し、企業間の差異と研究の必要性を実感できる②
12回目	自己分析について既習内容を振り返り、分析内容と必要性を確認することができる
13回目	自己分析の意義と企業の視点について考察することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。面接練習で習ったポイントは、授業後にくり返し練習しましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	進級おめでとうございます。いよいよ就職対策が始まりますね。面接などに不安を感じる人もいるでしょうが、焦る必要はありません。一人ひとりの魅力は異なるため、質疑応答に正解はなく、問われているのはあなたの人間性と未来への意気込みです。今まで一生懸命頑張ってきたことや、失敗から学んだ積み重ねこそがあなたの魅力です。自分自身と素直に向き合い、それらを相手に伝えましょう。時間は全ての人に平等であり、夢は強く具体的に願った人ほど叶えられます。日々の学びを大切に、すぐ先にある未来の夢に向かって一歩ずつ着実に歩みを進めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	多様性社会学(対人スキル) Diversity sociology(interpersonal skill)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	加藤亜紀先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 学校生活だけではなく今後の就職活動においての研修や社会人になった時、どう人と関わり、ストレスを溜めずに置かれた場所で自分らしさを発揮できるようになれるのか今後の社会生活にも活かしていける対人スキルの知識を学べる授業です。グループワークやディスカッションを通して他者との感じ方、捉え方の違いを体験することで、他者の考えも受け入れ、自己肯定、自己主張もできるようになる授業を行います。

※実務経験：NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。講師歴23年。ニチイ学館にて20年講義、大学病院、医療機関等で接遇研修を行う。医療コンシェルジュの育成、指導を行う。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリアサポートアップ」「ホスピタリティ」の講義等を担当。また企業、医療機関、学校等でのマナー研修も行う。

【到達目標】
 環境の変化や様々な場面において変化していく対人関係をどのように捉え、解釈し、行動できるかを学び実践することができるようになる。理論的な学びに加え、ワークやディスカッションを通して体験し、考えて行動することで、自信をつけて研修や社会人生活に臨むことができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、(授業についての説明)自己紹介:好印象を与える自己紹介の仕方を考えてみる。色々な人とコミュニケーションを取ってみる。(好きな方を選択し、同じグループで集まってみる。いつもと違う仲間を発見することができる)
2回目	さわやかな人間関係を築くために:現代の対人関係について知り、考えてみる。今までの自分の対人関係のパターンを知る。パターンチェックリストから自分の自己表現について考えてみる。
3回目	自己表現の3つのパターンを知る:エピソード、事例について考えることで自分の自己表現について考えることができる。更にディスカッションをすることで他者との違いについても考えることができる。効果的なアサーションについて自分なりの表現を学ぶことができる。
4回目	色々な捉え方があることを知る:一つの文章を読み、そこから感じ取ることをまとめてみる。同じものを読んでも人により捉え方の違いが出てくることを知るることができる。更にグループで意見をまとめる大変さを感じ取り、考えの違いを受け入れることができるようになる。
5回目	ストロークの法則を知る:プラスのストローク、マイナスのストロークを書き出して、ストロークについて知ることができる。相手のいいところを見つける訓練で、ストレスが減ることを実感することができるようになる。返し方でプラスの受け上手になることができる。
6回目	心のコップを自己点検してみる:心にマイナスのストロークを取り除き、プラスに変える方法を知る。傷つくことは、自分を成長させるチャンスであることに気づくことができるようになる。「傷ついたときこそ、成長のサイクル」をつかむことができる。
7回目	アクティブリスニング:積極的な傾聴は最上級のプラスのストロークになることを知る。友達の話や話を聴くことで、聴くことの効果を知ることができる。効果的な聴き方について学び実生活でも活かし、コミュニケーションのペースを整えることができる。
8回目	一方伝言トレーニング:与えられた情報をグループでルールを守り伝えていく。伝えることの難しさを体感することで伝えるために必要なスキルを学ぶことができる。グループワークを通じ、あまり付き合いのなかった友達とも触れ合い、友達のよい部分にも気づくことができる。
9回目	ノンバーバル・コミュニケーション:文化により異なるノンバーバルコミュニケーションを知る。バーバル情報とノンバーバル情報が違う場合について考える。ノンバーバルは第一印象の中で占める割合が大きく、学ぶことでさわやかに自己表現ができるようになる。
10回目	考え方の癖を知る:チェックシートで自分の考え癖を知る。イラショナル・ベリーフをラショナルベリーフの置き換える練習をしてみる。思い込みをなくして合理的な考え方をすることができる。ネガティブな言葉をポジティブな言葉に置き換え自分自身を表現できるようになる。
11回目	さわやかな自己表現をするトレーニング:おまけの情報提供をして、会話を膨らませる練習をする。質問を使い分ける(クローズドクエスチョンとオープンクエスチョン)練習をする。積極的に聴くエクササイズを行う。練習をすることで、身につけることができる。
12回目	アンガーマネジメント:怒りをどうコントロールし表現するのか。「怒り」は隠された「心の痛み」。上手に怒りを伝える方法を学ぶことでストレスを溜めずに自己主張もできるようになる。自分のネガティブ感情とポジティブ感情を知り、心を整理することができる。
13回目	クレーム対応:研修や社会人となった時にクレームにどう対応するか理論的に学ぶことで自信を持って対応することができるようになる。アルバイト等で実際にあったクレームを話してもらい、どう対応したらよかったか実例で解決策を考えてみる。
14回目	足るを知る(お茶の心):できないこと、欠けていることばかりに人は目がいくが、「今のままで十分」という考えを知ることができる。自己肯定感から心のゆとりを感じるができる。この授業で学んだことのまとめを書いてみる。(このまとめがレポート評価の対象になります)
15回目	振り返り・まとめ:今までの学習で感じたことや、実際に起こったことでの質問等自由な形で生徒とのディスカッションを行う。
準備学習 時間外学習	学習したことが実生活で活かされたか自己評価を行う⇒時々授業で発表する
評価方法	授業態度、14回目の授業で書くレポート提出80%、授業態度20%で評価
受講生への メッセージ	最近では、SNSなどソーシャルメディアでのコミュニケーションが日常的になっていて、人と直接コミュニケーションを行うことが不得手な人が増えているようです。対人関係を円滑に行っていくうえで、重要なコミュニケーション力を養うために必要なスキルを学習します。普段の日常会話や様々な例題のワークを行うことにより実践的に学べるように組み立てた授業になっています。また、グループワークやディスカッションを取り入れ、友達のよいところを見つけたり、以前より友達とコミュニケーションを取りやすくなったと感じてもらえるでしょう。意見をだしたり、考えたりしながら一緒に学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師の資料	

科目名 (英)	英語Ⅱ English Language II	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	ODEGBARO TUNDE
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 専門学校にて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容	
1回目	人々の行動を説明できる
2回目	人々の計画や意図を説明できる
3回目	進行中の活動を説明できる
4回目	過去の活動について説明できる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	過去と未来の活動を表現できる
7回目	過去と未来の義務を表現できる
8回目	健康診断や医療アドバイスを理解できる
9回目	時間と期間を表現できる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	助けを提供することができる
12回目	家庭内の問題について話せる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。	

科目名 (英)	英語 I English Language I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	ODEGBARO TUNDE / 常井 大輝
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 専門学校にて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容	
1回目	人の好き嫌いについて話せる
2回目	個人的な背景や興味について話すことができる
3回目	旅行や休暇について話すことができる
4回目	困難な経験について話すことができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	時間と期間を表現できる
7回目	今後の計画について話し合うことができる
8回目	起こった出来事について話すことができる
9回目	まだ起こっていないことについて話せる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	提案できる
12回目	あなたが住んでいる場所でやるべきことについて話すことができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。	

科目名 (英)	フード&ビバレッジⅡ Food&BeverageⅡ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	永溝 光一郎
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】 様々な食材・素材に関する知識(栽培法・種類・特徴等)を学び、食材について研究する。実際に食材に触れて、試食し学ぶ。 ※実務経験:2014年～2022年まで現場でパティシエとして勤務、製造責任者、接客なども経験							
【到達目標】 ＜具体的な目標＞ 素材や食材について学び、次年度の実習授業に活かせるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	ベリー (いちご、ラズベリー、ブルーベリー等) ※食材の食べ比べ ショートケーキ
2回目	チョコレート ※チョコレートの違い・作り方・色々なチョコレートの食べ比べ
3回目	洋菓・和菓について ※栗の甘露煮、洗皮煮、ペースト、食べ比べ (モンブラン)
4回目	卵について ※卵の違い プリンにして食べ比べ
5回目	砂糖について ※砂糖の種類違い作り方 砂糖の有なしで感じる味覚
6回目	リキュールについて ※リキュールの違い作り方 生クリームに混ぜての試食
7回目	ピューレについて ※ピューレとは、製造方法、同じものでも製造元で違う味
8回目	チーズについて ※チーズの歴史と違い 珍しいチーズの食べ比べ(ウォッシュチーズ・ブルーチーズ)
9回目	小麦粉(国産小麦・外麦の違い) ※小麦の違い色々な粉で作るスポンジ生地食べ比べ
10回目	バター・マーガリン・植物油脂について ※バターとマーガリンの違い、その種類作り方、食べ比べ
11回目	植物油脂・動物油脂(生クリーム)について ※生クリームの違い種類、各乳脂肪分の食べ比べ
12回目	ゲル化剤について ※ゼラチンなどの凝固剤で固まり方の違いをゼリーで食べ比べ
13回目	塩について テスト対策 ※塩の違い作り方 テスト対策
14回目	転化糖とB.Pについて テスト ※テスト 転化糖とBPについて、パウンドケーキで実験
15回目	ハーブ・スパイス・ミント・セルフィーユ・シナモン テスト振り返り ※テスト振り返り スパイス・ハーブを知る クラフトコーラ作り
準備学習 時間外学習	
評価方法	テスト:90% 授業内評価:10%
受講生への メッセージ	素材一つ一つに興味を持ち、素材を学ぶ事で、各業界で役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】 メモが出来るものを用意して下さい。	

科目名 (英)	マナープロトコル(2級) Manner Protocol (2nd level)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤 亜紀
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】2級の検定試験は出題形式が3級とは異なり、より深い学習が必要です。問題集、模擬問題を繰り返し解くことで試験問題に慣れ自信をもって2級の検定試験に臨むことができます。1年生で一通りの学習は終わっておりますので、グループで記述問題を作成し、皆で解き、自主的に学ぶ時間を取り、達成感を感じられる講義に致します。学習の成果として最終的に「文部科学省後援マナー・プロトコル検定2級」の合格を目指します。

※実務経験：NPO法人日本マナー・プロトコル協会認定講師。ニテイ学館委託講師22年、接客マナー研修担当。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコル」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接客」「キャリア」「ホスピタリティ」の講義等を担当。また企業、医療機関、学校等でのマナー研修も行う。

【到達目標】

社会人を対象とされるワンランク上の「マナー・プロトコル検定2級」の資格取得に臨みます。ワンランク上の資格は就職活動においても自信をもってアピールできます。より深い学習により、マナーや美しい所作を身につけることができます。マナーを心得た社会人としても自信をもって社会生活をスタートできます。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(学習の進め方等)。第1章マナーの歴史と意味:テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。該当部分の記述問題作成について(次回からは生徒達で記述問題を作成し参加する)問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
2回目	第2章国際人としてのプロトコル①(パーティのマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
3回目	第2章国際人としてのプロトコル②(挨拶と紹介～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
4回目	第3章社会人に必要なマナー①(礼装の基準まで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
5回目	第3章社会人に必要なマナー②(喜ばれる贈答品～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
6回目	前回の(贈答品のマナー～)の部分の記述問題を解く。ポイント解説。ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
7回目	中間テスト(ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う)・振り返り
8回目	お酒のマナー:お酒の種類、ワインの基礎知識を学ぶことが出来る。6章の確認テスト、問題集の該当問題を解き、理解を深める。
9回目	第4章ビジネスシーンのマナー①(接待のマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。生徒達で作成したお酒のマナーの記述問題を解き、ポイント解説を行う。
10回目	第4章ビジネスシーンのマナー②(ビジネス文書～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。インターンシップのお礼状作成、文書構成を理解することができる。
11回目	第5章食事のマナー①(和食のマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、生徒ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
12回目	和食のマナーの生徒作成の記述問題を解き、ポイント解説。ここまでの模擬問題を解いてみることで問題の形式に慣れることができる。
13回目	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
14回目	期末試験
15回目	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	前回学習した部分の記述問題をグループで作成する。問題集を解き直し復習する。
評価方法	①中間テスト、期末テストの点数 80% ②授業態度・提出物を期日までにきちんと提出する 20%
受講生への メッセージ	1年生で学んだことを更に学習を深めることで立ち振る舞いやマナーをより理解し、自分のものとする事が出来るでしょう。ワンランク上の資格を取得することは、皆さんが目指すホテルや観光、航空会社での就活において大きな自信となるでしょう。社会人として仕事をする上でも大きな自信は皆さんを更に輝かせてくれます。文部科学省後援マナー・プロトコル2級の資格を取得出来るように一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「マナー&プロトコルの基礎知識」、「マナー・プロトコル検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコル協会発行	

科目名 (英)	進級制作(コンシェルジュサービス) Presentation to mark the current year's study	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松本 真由美
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日1・2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル接客の基礎知識を学ぶ。気持ちを表す形や方法を認識し、ゲストの信頼を得る為にホテルマンとしてどのような備え・知識・技術が必要かを認識する。</p> <p>※実務経験: ホテル勤務年数:28年、コンシェルジュ勤務年数:21年 (ホテル日航福岡にてフロント係、フロントサービス係、を経てゲストリレーションズ /VIP等顧客接客係 兼 チーフコンシェルジュに配属) (現在、ホテルオークラ福岡 ゲストサービス課 課長 兼 コンシェルジュとして勤務)</p>							
<p>【到達目標】 ホテルマンとしてどのような備え・知識・技術が必要かを認識し、今後の接客の基盤となるよう習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	10/8(火) ①コンシェルジュのホテルでの位置付け・コンシェルジュの職務内容 【他部署との連携】 【ゲストリレーションズ・バトラーとの違い】
2回目	10/8(火) ①コンシェルジュのホテルでの位置付け・コンシェルジュの職務内容 【他部署との連携】 【ゲストリレーションズ・バトラーとの違い】
3回目	10/22(火) ①気持ちを表す形 【① プロトコール (ホテルマニュアル)】 【② 立ち居振る舞い (EV、誘導、差し示し、立ち姿勢)】
4回目	10/22(火) ②気持ちを表す形 【① プロトコール (ホテルマニュアル)】 【② 立ち居振る舞い (EV、誘導、差し示し、立ち姿勢)】
5回目	11/5(火) ①傾向と対策 【国別・層別・年代別の事例】
6回目	11/5(火) ②傾向と対策 【国別・層別・年代別の事例】
7回目	11/19(火) ①コンシェルジュとしての備え・歴史的背景・コンシェルジュの資質【ビジネススキル・コミュニケーションスキル・オペレーションスキル】
8回目	11/19(火) ②コンシェルジュとしての備え・歴史的背景・コンシェルジュの資質【ビジネススキル・コミュニケーションスキル・オペレーションスキル】
9回目	12/3(火) ①気持ちを表す方法 【①選択肢 ②代替案 ③共有共感 ④プラスワード ⑤ソリューションカウンター】
10回目	12/3(火) ②気持ちを表す方法 【①選択肢 ②代替案 ③共有共感 ④プラスワード ⑤ソリューションカウンター】
11回目	12/17(火) ①コンシェルジュ信条について・コンシェルジュ協会、レクレドールについて・コンシェルジュネットワークと観光業界への貢献
12回目	12/17(火) ②コンシェルジュ信条について・コンシェルジュ協会、レクレドールについて・コンシェルジュネットワークと観光業界への貢献
13回目	1/21(火) ①演習【観光案内、交通機関チケット手配の事例・実践】 【レストラン手配の事例・実践】
14回目	1/21(火) ②演習【観光案内、交通機関チケット手配の事例・実践】 【レストラン手配の事例・実践】
15回目	総まとめ、振り返り
準備学習 時間外学習	授業は制服着用で出席すること。(身だしなみも整えて清潔感を与えられるように準備をする)
評価方法	平常点(課題)40点 + 試験 50点 + 出席点 10点 = 計100点
受講生への メッセージ	①「基本を知る」 (基本を知って応用が出来る。) ②「共感力」 (相手の温度に合わせる ⇒ 程度・スピード・距離感を合わせる。) ③「先読みする」 (下準備を行う。裏取りをする。) ④「引き出しを増やす」 (様々な引き出し。深い引き出し。)
【使用教科書・教材・参考書】	
『わたしはコンシェルジュ』阿部 佳 氏 著	

科目名 (英)	中国語 Chinese Language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	李 霜華
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。エアライン・ホテル業務に使えるオリジナル教材を作って、前期の勉強を踏まえ、中国語の基礎を更に固め、発音・文法・会話を中心に深く指導していきます。</p> <p>授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。プリントを配り、日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりさせ、流暢に話せるまで練習してもらいます。また、数十年の教育経験を活かして、受講生が中国語検定試験HSK2級、3級に合格できるように、試験問題を解くノウハウを丁寧に説明し、クラス全員で力を合わせて、目標を目指して頑張ってもらいます。□</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が深く認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来の仕事現場で中国人観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいき、卒業するまで中国語が話せるように皆で頑張ります。前期の続きとして、中国語検定試験HSK2級、3級に合格できるように奮闘してもらいます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期に習った内容を全面的に復習し、発音・四声・イントネーションについて徹底的に練習することができる。
2回目	前期に続き、中国語検定試験HSK2級問題を取り上げて、各部分に分けて、詳しい説明を聞いて、そのノウハウを理解することができる。
3回目	過去問の練習について一回ずつ自分の目標を立てて、その達成感を味わいながら、更に高い目標へ進むことができる。
4回目	検定試験の問題について、各部分を徹底的に練習しながら、日常会話・業務用語も学ぶことができる。
5回目	検定試験の過去問を練習すると同時に、言葉の量を増やし、基礎文法を重点的に学ぶことができる
6回目	リスニング問題を重点的に練習し、自分の弱点を見つけて、克服することができる。
7回目	検定試験の過去問についての共通性を見つけ、その対策を身につけることができる。。
8回目	検定試験の最終的な復習と合格できるノウハウを徹底的に身に着けることができる。
9回目	仕事用のビジネス会話を中心に練習し、臨機応変に対応する能力を高めることができる。
10回目	空港・ホテルの様々な場面を作って、習った言葉、フレーズを活用することができる。
11回目	教室でグループを分けて、卒業後の仕事現場を作って、中国語で案内することができる。
12回目	後期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	期末試験前の総合的な復習、口頭試問の答えも十分に練習することができる。
14回目	評価週、期末試験(リスニング・会話・レポートを含む)
15回目	まとめ、反省会、これからの仕事に向かって、更に人生の高い目標を目指して頑張っていくことができる。
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。インターネット上の中国語を聞いたり、練習したりして、できるだけたくさん言葉を感じるように努力してもらおう。
評価方法	●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	皆さん、前期の授業でよく頑張ってくれて、ありがとう！中国語を更に上手に身につけられるように、後期も工夫しながら一緒に前へ進んでいきましょう。将来仕事に使えるビジネス中国語を中心に、単語の量を増やし、決まったフレーズをしっかりと覚え、就職してからすぐに中国語でお客様に対応できるように、日々コツコツと努力することが大事です。どうか皆で力を合わせ、これからの楽しい学校生活を過ごしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
日常会話、ビジネス会話のプリント・中国語検定試験過去問プリント、単語集	

科目名 (英)	宿泊業務演習Ⅱ 他 Accommodation business training Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2・3	担当教員	林田 裕也
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) サービスについての基本的なマインドや対応について学びます。また実技を通して実践力を身に着けます。</p> <p>※実務経験：パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト13年専務取締役、株式会社プライムプランディングデザイン取締役副社長、ホテル旅館運営会社 株式会社Planact取締役副社長。</p> <p>【到達目標】 サービススタッフとしての基本的なマインドの基本と対応姿勢を学ぶ。 基本的なサービスアテンドの流れを実技形式で習得を目指す。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ホテリエとしてのサービスマインドを理解できる
2回目	お客様の目的を理解する
3回目	お客様をエスコートする時の基本マインドと立ち居振る舞いの習得
4回目	エントランスからエレベーターへのエスコートを実践形式で習得する
5回目	エレベーターからロビーへのアテンドをする際の基本とエスコート姿勢を習得する
6回目	ロビーでのチェックイン、ウェイティング、ロビー対応を習得する①
7回目	ロビーでのチェックイン、ウェイティング、ロビー対応を習得する②
8回目	フロントから部屋までのエスコートを実践的に習得する
9回目	客室案内のエスコートを習得する
10回目	ロビーでのお客様からの様々なリクエストへの対応力を付ける①
11回目	ロビーでのお客様からの様々なリクエストへの対応力を付ける②
12回目	サービススタッフとして、お客様からのリクエストへの対応力を磨く①
13回目	サービススタッフとして、お客様からのリクエストへの対応力を磨く②
14回目	実技試験①
15回目	実技試験②
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	授業参加率と参加姿勢(60点)＋実技発表(40点)＝合計100点
受講生への メッセージ	ホテルの基本的なマインドをお客様対応の目線で身に着ける事で、今後のサービス力が変わります！しっかり学んで行きましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	ホテルマネジメント技能検定 Hotel management exam	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>本校において、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ホテル業界を目指す学生の多くは接客が好きだとか、ホテルオペレーションに関心の高い人が多いです。勿論、ホテル業の最前線は接客サービスで始まりますが、ご存じの通り、今ホテル開発は商業施設、オフィス施設、ホテル宿泊施設として不動産デベロッパーにより複合施設として世界中で開発されています。その中で不動産開発する側とホテル運営現場で働く人とのビジネス経営の知識格差が散見されます。もはやホテル業界では「おもてなし」だけでは食えない時代になりました。現場は現場教育で時間をおけば習得できますが、ホテル業をビジネスとしてホテル経営学の本質と実践を学び、習得する事で上位職への門が開かれます。当面の目標として在学中にホテルマネジメント検定試験3級合格を目指す。</p>							

授業計画・内容	
第1回	ホテル・マネジメント概論 授業の進め方につき、レクチャー 半期の授業の流れを理解することができる
第2回	ホテルマネジメントとホテルマーケティングとホテル財務会計とレベニューマネジメント教科の関係性を理解することができる
第3回	宿泊業務に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
第4回	料飲業務に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
第5回	宴会部門に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
第6回	営業部門に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
第7回	ホテルマーケティングの知識と技能が理解出来る 過去問題
第8回	施設管理業務の知識と技能が理解出来る 過去問題
第9回	危機管理職種 コンプライアンスの知識と技能が理解出来る 過去問題
第10回	ホテル事業計画につき、必要な知識が理解出来る 過去問題
第11回	ホテル会計の概要が理解出来る 過去問題
第12回	損益計算書や損益分岐点売上や主要分析指標の内容が理解出来る 過去問題
第13回	ホテルマーケティングとホテル購買管理の仕組み、人材育成の重要性が理解出来る 過去問題
第14回	評価日
第15回	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。 ※2025年秋に検定受験予定
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	ホテルマネジメント検定3級の受験合格を目指します。最近の問題の傾向に、日頃の世界や日本の観光業、ホテル、旅館、航空業界などの話題に関する出題が散見されます。業界に関するメディア情報に敏感に反応しましょう。又分析数値問題にも慣れる事が大切です。数値判断は社会に出てからも必要なスキルになり、学生時代に慣れる事が一番です。合格目指し、頑張ろう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生使用テキスト ホテル・マネジメント概論 ・他プリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※基本的に過去問題中心に学習します。 	

科目名 (英)	英語 I English Language I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	ODEGBARO TUNDE / 常井 大輝
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングをすることを日常化し英語に触れる時間を増やす。</p> <p>※:実務経験: 米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体むけセミナーなどを行う。</p> <p>【到達目標】 学期を通して英語の本を一冊読み、それに関するレポートを英語で書く。TED Talkを聞いて、次の授業で何を聞いて学んだかを英語で短いスピーチを毎回行う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介。クラスの流れを説明。学期を通して読む本を決める。次回までに自己紹介を英語で書いて提出する？
2回目	クラス内で英語で話をする。クラス分け。自己紹介(名前、出身、将来の夢、今夢中になっていること)？
3回目	クラス分け最初の授業。自己紹介part2。(名前、行ってみたい国、行ったことのある国、好きな地域とその国に関して)
4回目	映画を見て、要約文を書いてみる。(マイインターン、フォレストガンプ、ブラダを着た悪魔、グレイテストショーマン、天使にラブソングを1 or 2、グリーンブック)
5回目	文法講座(自己紹介文と要約文をから不自然な点、良い表現、アドバイスをピックアップして共有)
6回目	ロールプレイ(ホテルの接客をやってみよう)2人一組、レセプション、コンシェルジュ、ブッフェレストランの対応)スクリプトの作成、修正を繰り返す。
7回目	ロールプレイ(ホテルの接客をやってみよう)2人一組、レセプション、コンシェルジュ、ブッフェレストランの対応)初稿提出、スクリプトの読み合わせ、練習
8回目	ロールプレイ(ホテルの接客をやってみよう)2人一組、レセプション、コンシェルジュ、ブッフェレストランの対応)ロールプレイ本番
9回目	TED Talk の宿題を共有してみよう。
10回目	最終レポートに向けた読書の進捗を共有して、どんな本が友達に伝えよう
11回目	文法講座(ロールプレイのスクリプトやTed Talk レポートからピックアップ)
12回目	エッセイを書いてみよう。エッセイの説明。
13回目	エッセイを書いてみよう。エッセイの説明。
14回目	エッセイ提出
15回目	エッセイ評価、読書の要約を提出、授業に出た文法をテスト
準備学習 時間外学習	読書、TED Talk のリスニングとレポート
評価方法	読書要約レポート(30%)、TED Talk リスニング&レポート(30% 2%×15回) エッセイ(10%)、映画要約(10%)、ロールプレイ (10%)、文法テスト(10%)
受講生への メッセージ	英語に触れて慣れてもらうことが一番学びになります。机で黙って話を聞く授業ではないので、積極的に参加し、聞いたり、話したり、書いたりしながら楽しい授業にしましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	TOEIC対策 ToEIC measures	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	常井 大輝
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>TOEIC 対策として、リーディングと文法を徹底的に履修します。過去問を活用し、時間を計測して試験の方式に慣れてもらいます。それを計7回の半分は試験に利用し、他の回は、英語に慣れてもらうため、英語で話したり、聞いたりする機会とします。TED Talk を活用し、英語で要約レポートを書いてもらうことで、英語の基礎力を高めます。ネイティブの英語を聞き取れるようになることで、リーディングの速読や、文法が理論ではなく自然と出てくるようになります。ただしリスニングだけでは正しい英語(ビジネスレベル)を身につけることが難しいため、リーディングとライティングで補正していきます。</p> <p>※実務経験: 米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体向けセミナーなどを行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>1回目の模擬試験の結果から自ら目標得点を設定してもらいます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 TOEIC対策に向けて TED Talk の活用について
2回目	模擬テスト 自分のレベルを把握する。TED Talk 宿題
3回目	自己分析と目標設定を行う。わからないところ、苦手を把握し、他人に共有する。学び合う。TED Talk 宿題
4回目	模擬テスト TED Talk 宿題
5回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
6回目	模擬テスト TED Talk 宿題
7回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
8回目	模擬テスト TED Talk 宿題
9回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
10回目	模擬テスト TED Talk 宿題
11回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
12回目	模擬テスト TED Talk 宿題
13回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
14回目	模擬テスト TED Talk 宿題
15回目	TOEIC 本番?
準備学習 時間外学習	TED Talk(もしくは映画)の番組の中から自分が興味があるものを視聴し(15分以上のもの)要約レポートを英語で作成してくる。模擬テストで間違えたところを把握し、次回のクラスで共有、どういう問題であったか説明を自ら行う。
評価方法	模擬テスト、本番におけるリスニング、リーディングそれぞれの目標値達成率(最後の点数/目標値%)。
受講生への メッセージ	TOEIC対策だけの座学授業ではありません。英語に触れる機会を増やせば自然と問題が解けるようになります。単語を覚える、文法を覚えるのは単語帳を読んだり参考書を読んだりするのではなく、レポートを書いたり、映画をみたり自然の生活をしながら少し習慣を変えてみることで楽しんで覚えていきましょう。

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	常井 大輝
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 自分のキャリアビジョンを探してみる。やりたいこと、興味のあることを自己分析し、業界内での仕事を幅広く知ることによって自分がやりたい選択肢の幅を広げる。</p> <p>※実務経験: 米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体むけセミナーなどを行う。</p> <p>【到達目標】 やりたいこと、興味があることを見つける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、クラスに関して、経歴と起業の経緯説明。やりたいこと、興味があること、夢などを共有する(学生からも)
2回目	自己分析: 性格判断16personalities とクリフトンストレンクスファインダー(有料)
3回目	人生設計をしてみる。何歳までどんなことしてる? どんな家に住んでいる? 資産はいくら? 家族構成は?
4回目	自分はどんな仕事に向いているのか、それはやりたいことなのか、モチベーションは何か、レポートする。
5回目	仕事の選択肢の幅を広げる。就職活動に向けて(ジョブフェアの紹介)。
6回目	自己経歴の更新。Linked In、マイナビなどの活用。
7回目	バイトを探してみる。キャリアプランの第一歩。応募し働くかはあなた次第。
8回目	海外での生活についての話
9回目	海外ホテルでのインターンシップ経験の話
10回目	アメリカのホスピタリティ: ビジネス視点とおもてなし視点
11回目	海外カフェ接客術。米国接客英語のロールプレイ(演劇)を映画のワンシーンのようにやってみた
12回目	アメリカ入国審査ロールプレイ。緊張しないでやってみよう? 海外渡航後の場合変更
13回目	聞きたいこと、自習タイム
14回目	オンラインMTGをやってみる?
15回目	レポート: やりたいことは見つかったか。興味のある分野は見つかったか。
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト(100%)
受講生への メッセージ	自分を知り、将来について考える時間を少し作ってみましょう。流れに乗る人生、流れに乗らずに自ら切り開く人生など色々ありますが、自分が望む生き方を考えると学ぶ意味もなんとなくわかるかもしれません。私はそれをアメリカ大学生生活4年目で考え始めました。
【使用教科書・教材・参考書】	
クリフトンストレンクスファインダー- https://store.gallup.com/p/ja-jp/10003/%E3%82%AF%E3%83%AA%E3%83%95%E3%83%88%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%B934?c=1	

科目名 (英)	レストランサービス演習 Restaurant service training	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。</p> <p>※:実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務</p>							
<p>【到達目標】 実務で活かせる考え方と実践で活かせる行動力を身につけます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	学習の目的をを概要を知る事でレストランサービスの一連の流れを学ぶ事が出来る
2回目	サービスツールの使用方法と取り扱いを学び実践できるようになる(皿・シルバー・トレイ)
3回目	サービスツールの使用方法と取り扱いを学び実践できるようになる(グラス)
4回目	電話予約とテーブルレイアウトの関係を学ぶ事が出来る
5回目	事前予約者とウォークインゲストの違いを学ぶ事が出来る(第一印象)
6回目	コース料理と単品料理の注文と料理提供順の考え方をマ暗部事が出来る
7回目	料理と飲み物の関係を学ぶ事が出来る
8回目	料理コントロールと各備品の確保と洗浄
9回目	注文品の相違と残った料理の考え方と報告
10回目	追加注文(料理・飲物)と売上と時間の関係
11回目	下げ物と片付けと労働時間の関係を学ぶ事が出来る
12回目	ランチ前ミーティング、ディナー前ミーティング、営業終業後と次回出勤の考え方を学ぶ
13回目	試験対策の対策
14回目	試験対策
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>西洋料理 料飲接客サービス技法</p>	

科目名 (英)	レストランサービス技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。</p> <p>※:実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務</p>							
<p>【到達目標】 2025年8月学科試験全員合格</p>							

授業計画・内容	
1回目	レストランにおけるサービス方法・任務・開店準備・案内・注文・会計・販売促進・テーブルサービスを学び観点を把握する事が出来る
2回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
3回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解する事ができる
7回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
12回目	食品衛生・公衆衛生及び安全衛生を学び理解できるようになる
13回目	試験対策
14回目	期末試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>西洋料理 料飲接客サービス技法</p>	

科目名 (英)	宿泊業務演習Ⅱ Introduction to the Study Hotel	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	佐藤 俊子
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル業界のマーケティングについて学びます。</p> <p>※実務経験:(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティ英語指導を10年以上経験。全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。</p>							
<p>【到達目標】 ホテルにはマーケティングという手法が必要であることを理解することができる ホテルのマーケティングの手法(市場調査、ターゲットの設定、プランニング、フィードバック、販売促進のための宣伝広告、広報活動)があることを理解することができる プランニング、広告宣伝のためのキャッチコピーづくりができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業の進め方、授業の目的を理解することができる。
2回目	マーケティングの基本、4つのPを理解することができる。
3回目	マーケティングのターゲット設定を理解して、特徴のあるマーケティングをしているホテルを理解することができる
4回目	マーケティングのコンセプトを理解して、特徴のある活動をしているホテル理解することができる
5回目	市場調査の実施の仕方やその分析方法を理解することができる
6回目	マーケティングのイノベーション戦略を理解して、それをうまく活用しているホテルを知ることができる
7回目	ターゲット別のプランニングをすることができる(女性)
8回目	ターゲット別のプランニングをすることができる(キッズ)
9回目	ターゲット別のプランニングをすることができる(ビジネスマン)
10回目	ターゲット別のプランニングをすることができる(団塊の世代)
11回目	ターゲット別のプランニングをすることができる(おひとりさま)
12回目	夏休み向けのプランニングをターゲット別にすることができる
13回目	発表にむけても作業をすることができる
14回目	発表
15回目	総評を通してうまくいったところ、まだまだのところを理解して次に生かすことができる
準備学習 時間外学習	マーケティングというホテルの業績を左右する部門を学びます。アンテナを張っているいろいろな情報をゲットしてください。
評価方法	プレゼンテーション発表 40% 小テスト 40% 授業態度 20%
受講生への メッセージ	レストランサービスやフロントベルサービスなどの対人だけではない、ホテルの深いところを学びます。楽しんで参加してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルレジメ、PCは毎回使います	

科目名 (英)	カジノ実習 Casino practice	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	牧尾 理央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) カジノの4大ゲームである「ブラックジャック」、「ルーレット」、「バカラ」、「ポーカー」のゲームルールとテーブルマナーを実践を通して学び習得する。</p> <p>【IR一般教養】 海外のIR(統合型リゾート)導入事例、日本型IRの有効性とカジノの本質、世界のカジノの歴史と文化、IRにおけるカジノディーラーの仕事について学ぶ。</p> <p>※実務経験:韓国パラダイスシティのカジノで3ヵ月のインターンシップを経験、ラスベガスのディーラースクールへの短期留学を予定。</p>							
<p>【到達目標】 海外のIR導入事例を考察して、日本型IRの有効性を正しく理解することで、将来のIRに関連するビジネスへのビジョンを持つ。 世界基準のカジノマナーとゲームルールを体験しながら学ぶことで、カジノの本質を知る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ブラックジャックのルールとマナー体験 ① (基本的なルールとテーブルマナーを学習)
2回目	ブラックジャックのルールとマナー体験 ② (実践学習)
3回目	ルーレットのルールとマナー体験 ① (基本的なルールとテーブルマナーを学習)
4回目	ルーレットのルールとマナー体験 ② (実践学習)
5回目	バカラのルールとマナー体験 ① (基本的なルールとテーブルマナーを学習)
6回目	バカラのルールとマナー体験 ② (実践学習)
7回目	ポーカーのルールとマナー体験 ① (基本的なルールとテーブルマナーを学習)
8回目	ポーカーのルールとマナー体験 ② (実践学習)
9回目	カジノディーラー体験 ① (ディーリング基礎・チップワーク)
10回目	カジノディーラー体験 ② (ディーリング基礎・カードシャッフル)
11回目	カジノディーラー体験 ③ (ブラックジャック基礎)
12回目	IR一般教養 ① (海外のIR事例、日本型IRの有効性)
13回目	IR一般教養 ② (カジノの歴史とカジノディーラーの仕事)
14回目	期末試験 *筆記試験
15回目	カジノ大会を通じて自身の習熟度を確認することができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	筆記試験(100点満点)
受講生への メッセージ	本講義では、“カジノ”を通じて世界基準のホテルビジネス、ホスピタリティを学び、たくさんの可能性を持っておられる皆様ひとりひとりの視野をより多方面へと広げられる、様々な「気づき」が得られるような講義となれば幸いです。一緒に楽しく学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ハンドアウトのレジメ	

科目名 (英)	キャリアプログラム Carrer program	必修 選択	選択必修	年次	3・4年	担当教員	佐野太一
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
【学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 【学習内容】							
※実務経験:大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業課題・問題解決に取り組む。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・業界に必要なチームワークを身につけ実践することができる。 ・状況に応じた態度、発言を実践し、円滑にコミュニケーションとプレゼンテーション能力を図る。 							

授業計画・内容	
1回目	4/10 インフォメーション、2025年度年間の確認
2回目	4/17 インフォメーション、就職活動に関して
3回目	4/24 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
4回目	5/8 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
5回目	5/15 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
6回目	5/22 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
7回目	5/29 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
8回目	6/12 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
9回目	6/19 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
10回目	6/26 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
11回目	7/3 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
12回目	7/10 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
13回目	8/21 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
14回目	8/28 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
15回目	9/4 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト製作時間に充てる場合があります。 (その際は都度指示を出します)
評価方法	① 課題提出とその内容(80%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(20%)
受講生への メッセージ	通常のHR事項に加えて、取り組んでいる企業プロジェクトの実行制作の時間をこの時間においても行います。 3年生は就活に向けての準備を整える機関になります。準備を整えて就活に臨みましょう。 4年制は学生生活最後の1年間の締めくくりを良いものにしていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フードビバレッジ実習	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	白川 明彦 / 石川 康二 / 上園 信也
	Beverage foundation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 随時
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテル、レストラン、御礼等で必要な知識やスキルを実習形式で学びます。

※実務経験:
 <石川>1988年～2009年の21年間日本料理を歴任。ホテル・料亭・寿司割烹店で活躍 専門調理師日本料理取得・専門調理師寿司料理取得・調理師免許取得・全日調理師協会日本料理師範の称号受賞・河豚免許取得
 <白川>:1988年4月～2012年3月までホテル、レストラン、給食委託事業に勤務。ホテル、レストラン、病院給食部門、老健施設、社食、寮などの立上げ提供のオペレーションからメニュー開発まで統括SV、料理長にて運営に携わる。公益法人 全日本司厨士協会福岡支部 理事・アカデミー銅賞授与 / 社団法人 日本エスコフォエ協会 ディシプル章授与。免許取得:西洋部門(専門調理師・調理技能士)、調理師免許
 <上園>東京恵比寿・熊本(モリコーネ)・イタリアナポリ(BAR ROSSO)・鹿児島(トレ・グラッポリ)にてカフェ・レストランにてマネージャー&パスタとして10年間勤務し、様々なカフェのオープニング立ち上げやパスタの育成に従事。JBA(日本パスタ協会)認定資格・IAC(国際カフェテイティング協会)認定資格取得。

【到達目標】

- ・レストラン・婚礼の場で自身がサー빙する(提供する)際、その一皿がどのような過程(材料・調理法・レシピ)で作られているのかを学び体感することができる。
- ・アレルギーや宗教的な面で調理スタッフが気を付けていることを知ることができる。

授業計画・内容

1回目	6月27日(金) 1限 オリエンテーション(授業の内容、シラバス確認、授業日確認) ※703教室に集合してください
2回目	7月4日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
3回目	7月11日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
4回目	7月18日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
5回目	7月22日(火) 1限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【講義形式】 フランス・イタリア料理の違いについて、フルコース料理:ソースと魚・肉料理①
6回目	7月22日(火) 2限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【講義形式】 フランス・イタリア料理の違いについて、フルコース料理:ソースと魚・肉料理②
7回目	7月22日(火) 3限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【実習形式】 料理名:ハンバーグサンド/フライドポテト テイクアウト商品を作ろう①
8回目	7月22日(火) 4限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【実習形式】 料理名:ハンバーグサンド/フライドポテト テイクアウト商品を作ろう②
9回目	7月23日(水) 1限 <石川先生> 日本料理の歴史・文化を知ることができる。
10回目	7月23日(水) 2限 <石川先生> 日本料理の懐石料理・精進料理・茶懐石料理について学ぶ
11回目	7月23日(水) 3限 <石川先生> 日本料理の食事の取り方とマナーについて知ることができる。
12回目	7月24日(木) 1限 <上園先生> 紅茶の歴史～3大紅茶～試飲
13回目	7月24日(木) 2限 <上園先生> 珈琲の歴史～ドリップ抽出～ドリップ以外の様々な抽出について学ぶことができる。
14回目	7月24日(木) 3限 <上園先生> 近代の珈琲～エスプレッソ抽出～試飲について知ることができる。
15回目	7月24日(木) 4限 授業のまとめ(最終レポートを記入)

準備学習
時間外学習

評価方法

課題レポート 100% ※7月24日 4限にレポートを記入し、内容で評価します。

受講生への
メッセージ

皆さんが目指すホスピタリティ業界で、食や料飲サービスはとても重要な要素です。
 自分にとってプラスになる知識やスキルを学ぶことができるので各講義でしっかり吸収していきましょう！
 ※授業日がイレギュラーなため、日程を各自漏れなく確認してください。

【使用教科書・教材・参考書】

第5回目以降、エプロン・三角巾・黒ボトムスで参加すること。(アクセサリ、時計は必ず外す)身だしなみが整っていない場合、授業に出席することはできません。

科目名 (英)	ホテルマネジメント技能検定 Hotel management exam	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日1限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>本校において、激変する世界市場の中でホテルマーケットがどのように変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導を実施する。その為の数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の(株)HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在11期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>一般社団法人日本宿泊産業マネジメント技能協会が実施しているホテルマネジメント技能検定の資格が取得できる。資格取得を通じて、ホテルの仕組みや計数管理そして組織運営を中心としたマネージメントの観点からホテルビジネスを理解し活用できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	2年後期授業に続き、今前期の授業スタイル説明 ホテル分類と需要推移 施設分類が理解できる
2回目	ホテル市場規模 及び昨今の状況推移が理解出来る 過去問題
3回目	ホテルビジネスの特徴が理解出来る 過去問題
4回目	ホテルビジネスの特徴が理解出来る 過去問題
5回目	ホテルビジネスの仕組みが理解できる 過去問題
6回目	ホテルビジネスの所有・経営・運営のpお金の流れが理解できる 過去問題
7回目	ホテル財務諸表と管理会計 財務諸表の種類が理解できる 過去問題
8回目	損益計算書に対する管理会計や損益分岐点が理解できる 過去問題
9回目	人材マネジメントの重要性や望ましいホテル人材が理解できる 過去問題
10回目	人材育成と教育訓練や人事評価や就業規則管理、人件費管理が理解できる 過去問題
11回目	ホテルに関連する法律が理解できる 過去問題
12回目	ホテル旅館基本法や宿泊約款の内容が理解できる 過去問題
13回目	宿泊業者としての責任が理解できる 過去問題
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施 期間振返り 受験対策
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価 筆記試験は必ず電卓を使用
受講生への メッセージ	ホテルマネジメント検定3級の受験合格を目指す。最近の問題の傾向に、日頃の世界や日本の観光業、ホテル、旅館、航空業界などの話題や課題に関する出題が散見される。従って業界に関するメディア情報に敏感に反応しましょう。又、分析数値問題にも慣れる事が大切です。数値判断は社会に出てからも必要なスキルになり、学生時代に慣れる事が一番大事です。合格を目指し、頑張ろう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>・2025年版 ホテル・マネジメント教本</p> <p>・学生使用テキスト ホテル・マネジメント教本</p> <p>・他プリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※基本的に過去問題中心に学習します。</p>	

科目名 (英)	マナープロトコール(2級) MannerProtocol(2rd level)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	加藤亜紀先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						曜日・時限	
2級の検定試験は出題形式が3級とは異なり、より深い学習が必要です。1年生で一通りの学習は終わっておりますので、グループで記述問題を作成、選択問題をピックアップして皆で解き、自主的に学ぶ時間を取り、達成感を感じられる講義を行います。また、模擬問題を繰り返し解くことで2級の試験パターンに慣れることができます。学習の成果として最終的に「文部科学省後援マナー・プロトコール検定2級」の合格を目指します。							
※実務経験：NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。講師歴23年。ニテイ学館にて20年講義、大学病院、医療機関等で接遇研修を行う。医療コンシェルジュの育成、指導を行う。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリアサポートアップ」「ホスピタリティ」の講義等を担当。また企業、医療機関、学校等でのマナー研修も行う。							
【到達目標】							
マナー・プロトコール検定2級の対策授業を通じて、国内外のマナー&プロトコールを身に付け資格取得ができる。受験者の多くが社会人となるワンランク上の「マナー・プロトコール検定2級」の資格取得に臨みます。2級はエアラインの客室乗務員や一流ホテルのホテリエを目指すレベルなので就職活動において大きなアドバンテージとなります。自主性を重んじた学習により、マナーの意味を理解し行動できるようになり、卒業時には自信をもって社会生活をスタートできます。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(学習の進め方等)。第5章食事のマナー(洋食のマナー)①:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
2回目	第5章食事のマナー(洋食のマナー)②:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。第6章お酒のマナー①:お酒の種類、ワインの基礎知識を学ぶことができる。6章の予習シート、確認テスト
3回目	第6章お酒のマナー②:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
4回目	第7章「冠」のしきたり:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
5回目	第8章「婚」のしきたり:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
6回目	ここまでの内容の復習:生徒達で食事のマナーから「婚」のしきたりまでの選択問題をピックアップして試験を行う。繰り返し問題を解くことで、自信を持って中間テストに臨むことができる。
7回目	中間テスト(ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う)・振り返り
8回目	第9章「葬」のしきたり:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
9回目	第10章「祭」のしきたり:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
10回目	序章～第3章までの生徒達でピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。選択問題に慣れ、理解を深めることができる。模擬テストを解く。2級の試験パターンに慣れる、テキストの内容の理解を深めることができる。
11回目	第4章～第6章までの生徒達でピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。選択問題に慣れ、理解を深めることができる。模擬テストを解く。2級の試験パターンに慣れ、テキストの内容の理解を深めることができる。
12回目	第7章～第10章までの生徒達でピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。選択問題に慣れ、理解を深めることができる。模擬テストを解く。2級の試験パターンに慣れ、テキストの内容の理解を深めることができる。
13回目	模擬テストを行う。繰り返し模擬問題を解くことにより試験のパターンに慣れ、理解を深めることができる。自信を持って期末テストに臨むことができる。
14回目	期末試験
15回目	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	①指示した部分の記述問題をグループで作成する。②指示した範囲の選択問題を各グループで問題集よりピックアップする。①②の問題を毎回授業の始めに試験として行う。試験点数はグループで集計し、グループ戦で競う。問題集を解き直し復習する。
評価方法	①中間テスト、期末テストの点数 80%(筆記試験) ②授業態度・提出物を期日までにきちんと提出する 20%
受講生への メッセージ	2年生の後期に学習した「マナー・プロトコール検定2級」対策授業の後半授業です。2年生では、グループで記述問題を作成することで、テキストの理解が深まったと思います。3年生前期は、テキストの後半部分の学習です。記述問題対策は勿論のこと、苦手とする選択問題対策を強化し、全員で文部科学省後援「マナー・プロトコール検定2級」の取得を目指します。 ワンランク上の資格を取得することは、皆さんが目指すホテルや観光、航空会社での就活において大きな自信となるでしょう。大きな自信は、社会人として仕事を上でも皆さんを更に輝かせてくれます。みんなで2級に合格できるように一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「マナー&プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行	

科目名 (英)	レストランマネジメント/ITマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	吉村 丞史
	Restaurant Management	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホテルマネジメントコース					曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 レストラン運営マネジメントの基礎や活用法を理解して、マネージャー(管理責任者)としての意識や思考をインプットして高める場にします。
 人(人材育成・チームビルディング) 事(価値創造・価値浸透) 金(物)(損益の理解・錬金法・資産管理)

※実務経験:株 にしけい(空港保安検査業務)1年/株 ポジティブドリームパーソンズ(料飲部門) 4年/株 オペレーションファクトリー(飲食)3.5年/株 グローバルエージェンツ(料飲/ホテル) 5年 基本的に発展途上で創造の幅が広い、中小ベンチャーへ就職しています。人に特化した思考でのブランディング・マーケティングを主軸に、人材育成や売上獲得を行い、ホテルや飲食の新規開発等も携わり、経営・運営・現場と幅広く活動しております。

【到達目標】
 ホテルレストランの運営を理解して、マネージャーとしてのワークビジョンが語れる(言語化・可視化できる)

1回目	オリエンテーション(自己紹介・業界概要・進め方)を行い授業内容を通じて半年後に何が習得できるかイメージすることができる
2回目	ホテルレストランの組織構造と役割について学ぶことができる
3回目	レストランマネージャーの役割と業務(オペレーション・マネジメント・管理業務)について学ぶことができる
4回目	ホテルブランド戦略とMVV(ミッション・ビジョン・バリュー)を知ることができる
5回目	マーケティング1(ターゲティング・販促戦略・集客)について学ぶことができる
6回目	マーケティング2(デジタルマーケティング・SNS活用・ロコミ戦略)について学ぶことができる
7回目	売上管理(売上構造の理解・客単価・KPI)について学ぶことができる
8回目	利益管理(利益構造の理解・コストコントロール・利益の最大化)について学ぶことができる
9回目	顧客満足とリピーター戦略(体験価値向上・ファンづくり)について学ぶことができる
10回目	人材育成・チームビルディング(スタッフ教育・リーダーシップ)について学ぶことができる
11回目	企画開発・商品開発(コンセプト・メニュー開発・イベント企画)について学ぶことができる
12回目	ケーススタディ(成功しているレストランの事例分析)を通じて学ぶことができる
13回目	ケーススタディ(問題がある店舗の課題解決)を通じて学ぶことができる
14回目	実践ワークショップ(ホテルレストランの企画プレゼン準備)を行い習熟度を理解できる
15回目	最終プレゼンを通じて授業で学んだことを表現できる

準備学習
時間外学習

評価方法
 授業態度 30%
 最終プレゼン 70%

受講生への
メッセージ
 ホテルにとって、飲食機能とはとても強いコンテンツです。特に近年はハードでの差別化が難しい世の中であり、だからこそ、他には無い体験を提供する必要があります。その為には、知見や経験を増やし、脳内のアイデアやイメージの幅を広げより、深層まで潜る事で他には無い新しい創造が生まれると私は考えます。共にワクワクしながら学び成長できれば嬉しいです。よろしくお祈いします。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	レストラン技能検定/レストランマネジメント Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験: レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 レストラン技能検定に全員合格することができる。							

授業計画・内容	
1回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
2回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
3回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
4回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
5回目	2024年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
6回目	2024年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
7回目	課題の抽出と克服
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る
11回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来る様になる
12回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来る様になる
13回目	実技試験対策
14回目	評価週 実技試験対策
15回目	実技試験対策
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	ワイン解説Ⅰ ワイン解説Ⅲ Study of wine I・Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	3・4	担当教員	池本 健介先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)				曜日・時限	火曜日4限目		
<p>ワインに関する基礎知識を得ると共に、実践形式での授業を行い即戦力となれることを目指す。授業前半座学、後半実技。</p> <p>＜講師＞ 2015年株式会社ホテルオークラ福岡入社。宴会場2年、レストランに1年勤務し、その後BAR倉吉に5年勤務。バーテンダー資格、レストランサービス技能資格などを取得。在籍中、カクテルコンテストに出場。現在は、TONY'S BARIに勤務し、所属する日本ホテルバーメンズ協会九州支部より派遣され今回講師を務める。</p> <p>【到達目標】 ワインの歴史や各国文化を総合的に学び、サービス方法やテイasting方法を身に付け、造詣を深めることができる。 “ワインに関する歴史、栽培、醸造方法、各国のワインについて知識をつける。技術面では、ワインサービスに関わる各器材の使い方、提供方法、セッティング、片付けまで習得する。”</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・酒類概論 飲料サービス用備品に触れることができる(2回目より毎回サービス実践)
2回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて知ることができる ワインサービスの実践
3回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を知ることができる ワインサービスの実践
4回目	ワイン生産国について ①フランス ボルドー・ブルゴーニュの2大産地を理解することができる ワインサービスの実践
5回目	ワイン生産国について ②フランスその他の主要産地について学ぶことができる ワインサービスの実践
6回目	ワイン生産国について ③イタリア・ドイツ・スペインについて学ぶことができる ワインサービスの実践
7回目	ワイン生産国について ④アメリカ・チリ・日本について学ぶことができる ワインサービスの実践
8回目	ワイン生産国について ⑤オーストラリア・ニュージーランド・南アフリカについて学ぶことができる ワインサービスの実践
9回目	ワイン以外の飲料について ビール・スピリッツ・リキュールについて学ぶことができる 各種飲料の提供実践
10回目	ワイン以外の飲料について 日本酒・カクテルについて学ぶことができる 各種飲料の提供実践
11回目	レストランシミュレーションを実施することができる(サービストレーニング)
12回目	レストランシミュレーションを実施することができる(サービストレーニング)
13回目	復習・ディスカッションを実施することができる
14回目	試験を通じて自身の習熟度を理解することができる
15回目	試験の復習を通じて自身の足りない知識を補い14回の授業の総括をすることができる
準備学習 時間外学習	コンビニやスーパーなど、ワインを見つけたら手に取ってみてください。名前や産地、ポップに書かれている香りや味の特徴を見てワインに興味を持てる工夫をしてみてください。
評価方法	授業態度20%・期末試験80%
受講生への メッセージ	まずはワインに親しみましょう。 ワイン以外のことでも、レストラン・バー・ホテルに関することは何でも質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師作成資料(参考文献:日本ソムリエ協会教本 HBAオフィシャルバーテンダーズブック)	

科目名 (英)	英検/TOEIC対策/英会話 ToEIC measures	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 月曜日1時限 / 火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) TOEICは全世界で通用する、ビジネス英語の熟練度を測る試験です。このTOEIC試験の内容をざっと網羅し、リスニングと語彙・文法・読解問題の攻略にあつたの、基礎固めを目指すクラスです。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>【到達目標】 TOEICテストの全貌を学ぶことができる。TOEIC初級でも、とくに得点しやすいリスニングの前半問題と語彙文法問題に数多く取り組むことで、得点力をアップすることができる。 目標得点(3級レベル:400点以上 準2級レベル:500点以上 2級レベル:600点以上 準1級レベル:700点以上)をクリアする実力をつけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年初のオリエンテーション。TOEICテストの内容解説をし取得の意義を伝えることでモチベーションを上げることができる。
2回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
3回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
4回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
5回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
6回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
7回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
8回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
9回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
10回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
11回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
12回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
13回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
14回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
15回目	テストの講評と解説をすることで弱点を知り、その場で修正することができる。
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、語彙の復習ミニテストなどもあります。その時は前の週にお伝えしますので、しっかり復習をしてきてください。
評価方法	授業中のパフォーマンス・ミニテストの得点:50% 中間期末試験:50%
受講生への メッセージ	TOEICは英検とは全く毛色の違う語彙や出題形式をもった国際資格で、独自の勉強が必要です。幅広いスキルが要求されますので、最初は圧倒されるかもしれませんが、まずは基礎となるシンプルなリスニング問題と語彙文法問題を攻略して、しっかり実力をつけていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「TOEIC公式問題集10」 「TOEIC書き込みノート」 そのほか、随時必要に応じてプリント教材	

科目名 (英)	英語Ⅲ English Langage Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2限目/火曜日2限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 英語能力をより高める授業内容で、英語でのコミュニケーション能力を伸ばすことができる。ホテル内で使用する接客英語をロールプレイング形式で学び、自身で表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	人の好き嫌いについて話せる
2回目	個人的な背景や興味について話すことができる
3回目	旅行や休暇について話すことができる
4回目	困難な経験について話すことができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	時間と期間を表現できる
7回目	今後の計画について話し合うことができる
8回目	起こった出来事について話すことができる
9回目	まだ起こっていないことについて話せる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	提案できる
12回目	あなたが住んでいる場所でやるべきことについて話すことができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて「Hospitality English for Careers at Hotels.」教科書を使用します。	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate Collaboration Project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	佐野 太一
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科(ホテル・エアライン)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
独自の商品やサービスの開発に取り組み実践力を身につける
(観光・宿泊業の状況実態に沿った企画提案力の強化)
(ラグジュアリーホテル運営と集客に関して研究と提案、フィードバックを通して学ぶ)

※実務経験:大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業の課題・問題解決に取り組む。

【到達目標】

①企業目標目的を理解し戦略的マネジメント力を身につける
②プレゼンテーション力を身につける
-自分自身の言葉で訴えかけるプレゼンテーション
-英語でのプレゼンテーションの実施

授業計画・内容	
1回目	企業プロジェクトの目的 (業界で求められる5つの力) (4/10)
2回目	業界と地域の現状について、課題を課題や解決法について ① (4/17)
3回目	業界見学 (4/24)
4回目	業界と地域の現状について、課題を課題や解決法について ② (5/8)
5回目	企業プロジェクト開始予定(以降適宜実施)
6回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
7回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
8回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
9回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
10回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
11回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
12回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
13回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
14回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
15回目	プレゼンテーション(最終審査)
準備学習 時間外学習	前回取り組んだした内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。 ※企業ミーティングに参加する際はスーツ着用、身だしなみを整えて参加すること。
評価方法	① 課題提出とその内容(80%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(20%)
受講生への メッセージ	学んできた技術や知識は、実践で使うことで効果を発揮します。しかしながら知識や技術だけでは解決しないことも実践においては多くあります。そのためには自らが調べ、考え、それを伝える努力をしなければなりません。その行動力をこの授業を通して身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	3・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日3限目
【授業の学習内容】 丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。また必要なマナーや様々な形式の面接試験の各ポイントを抑え、「傾聴」と「対話」の中で自信を持って魅力ある自己PRができるよう導きます。							
【実務経験】 全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接遇・アナウンス等教育、運航支援、搭乗管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社こども英語教室、大手老舗百貨店外商部、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】 就職試験対策(自己分析・時事問題・面接対策・グループディスカッション等)を行い自分に合った企業の内定を獲得できるよう準備することができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介を通して自己分析の深度を確認できる オリエンテーションを通して就職活動の全体図を思い描ける 就職する意味を理解できる
2回目	受験先へのエントリー方法、応募書類の作成方法および提出マナーを習得できる
3回目	業界および企業研究の着目ポイント、企業と学生の視点の違いと重視すべきポイントを認識できる
4回目	自己分析の必要性を理解して、ポイントを抑えた客観的な自己分析の方法を習得できる(自分史の作成、経験の振り返りと分析)
5回目	自己分析の結果から自己を客観的に捉え、長所や特技を抽出できる ●エゴグラム(性質、他者との関わり方、集団での立ち位置)
6回目	PREP法に則り、わかりやすく説得力のある表現を習得できる ●記述 ●口述 ●リフレーミング
7回目	志望企業や職種を意識して、経験や長所から基本的な自己PRを作成することができる ●企業研究 ●趣味・特技
8回目	自己分析・業界研究・企業研究を踏まえて、企業への熱意と将来の活躍を感じさせる説得力のある志望動機を作成することができる
9回目	基本的な履歴書を作成し、添削を受けることができる
10回目	面接試験の重要性と必要なマナー、「対話」のポイントを理解できる ●マナー ●表情 ●立ち居振る舞い ●発声 ●対話力 ●傾聴姿勢
11回目	経験、自身の抱くホスピタリティ、長所、趣味・特技などを踏まえた魅力ある自己PRを口述できる 聴き取りやすい発声と滑らかな活舌を習得できる
12回目	グループ面接のポイントを理解し、練習と振り返りができる
13回目	グループディスカッションのポイントを理解し、練習と振り返りができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。 この授業は自分自身と向き合うことからスタートします。テーマはあなた自身です。常に「自分とは？」という意識を抱いて生活してください。 受け身で受講するのではなく、積極的に言葉や声を紡ぎ、仲間と支え合い、刺激し合い、自分自身の成長の場としましょう。 面接練習で習ったポイントは、授業後もくり返し練習しましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	進級おめでとうございます。この授業では本格的な就職対策を行います。不安を感じる人もいるでしょうが、焦る必要はありません。一人ひとりの魅力は異なるため、質疑応答に正解はなく、問われているのはあなたの人間性と未来への意気込みです。今まで一生懸命頑張ってきたことや、失敗から学んだ積み重ねこそがあなたの魅力です。自分自身と素直に向き合い、それらを相手に伝えましょう。時間は全ての人に平等であり、夢は強く具体的に願った人ほど叶えられます。日々の学びを大切に、すぐ先にある未来の夢に向かって一歩ずつ着実に歩みを進めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	英会話(スピーキング・リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	坂田未央 / はなだ 東砂
学科・コース	ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講義内容:すでによく知っている学生のみなさんの、それぞれの実力や到達度に合わせて、各自の英検レベルに合わせた受験指導を細やかにしていきます。前期に引き続き、動画や歌など興味をもてるトピックなどもはさみつつ、国際社会で通用する英語力を身に付けることができる授業をおこないます。</p> <p>※実務経験:2020年より滋慶学園にて、TOEIC指導、英検指導、英文法の授業を、オンラインと対面の両方でおこなってきた。また私塾にて延べ80名の小学生～大学生の英語指導をおこなう。翻訳・通訳の実務経験豊富。東京外国語大学英米語学科卒業。TOEIC970点 英検1級。</p>							
<p>【到達目標】 各自が目指す英検レベルの合格を目指し、読む、聴く、話す、書く、の4技能を身に付けることを目指します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ご挨拶とこれから半年の目標を確認することで、英語力をあげるためのやる気を高めることができる。
2回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
3回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
4回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
5回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
6回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
7回目	簡単な意見や考えを英語で表現することができる。
8回目	簡単な意見や考えを英語で表現することができる。
9回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
10回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
11回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
12回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
13回目	期末テストのための対策時間。質疑応答をすることによりこれまでの復習がじゅうぶんにできる。
14回目	期末テスト
15回目	テストの返却、解説。動画視聴などのおたのしみ会
準備学習 時間外学習	毎回授業のはじめに、前回の復習として単語や表現についてあてて質問します。しっかり答えられるように復習しておいてください。
評価方法	毎回の授業態度とパフォーマンス:3割 期末テスト:7割
受講生への メッセージ	社会人になってから「あの時にもっと勉強しておけばよかった」と英語の勉強をしないおす社会人はとても多いです。時間がある学生時代のうちに、できるかぎり英語のスキルを磨いて、社会に出てから役立てるようになってください。応援しています。
【使用教科書・教材・参考書】	
旺文社「7日間完成」シリーズ、「過去問6回」シリーズ 講師による手製のプリント類	

科目名 (英)	ITテクノロジー	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	増田 綾香
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) WEBマーケティングの基礎を理解し、顧客の認知から購買の流れを学習する。</p> <p>※実務経験: IKK株式会社にてウェディングプランナー/営業部として3年勤務。その後、株式会社グローバルエージェンツにてウェディングプランナー、PR担当として3年勤務 2023年3月よりフリーランスのウェディングプランナー兼 業務委託でライフローラ株式会社のウェディングプランナーを担当中。また、WEBマーケティングについての講義実績も有る。</p> <p>【到達目標】 WEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解することができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、今後の流れ、WEBマーケティングについての知識を身に付けることができる
2回目	WEBマーケティングのターゲット、ペルソナ設定について理解することができる
3回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる①
4回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる②
5回目	ブランディングについて理解することができる①
6回目	ブランディングについて理解することができる②
7回目	流入経路について理解することができる(ホテルOTA)
8回目	流入経路について理解することができる(エアラインなど)
9回目	流入経路について理解することができる(ゼクシィ)
10回目	WEBマーケティングの必要性、目的について理解することができる
11回目	流入施策の理解(WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告)
12回目	SNSマーケティングの概要
13回目	Instagramのアカウント運用
14回目	評価テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	平常点30%、期末試験70%
受講生への メッセージ	はじめまして。 ブランディングの重要性を知り、WEBマーケティングを理解して、役に立てるように頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	白石 真紀
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本格的な就職活動を前に、正しい言葉の使い方、基本的な社会人応対について、基礎力を強化していきましょう。</p> <p>【実務経験】 大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事して20年、担当婚礼件数は2,000組～を更新中。その間に、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校、短大、大学において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい敬語、話し方を身につけることができる。 ・企業や目上の方との電話、メールの応対を正しく実践することができる。 							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 授業の目的・他人から見た自分を知る他己紹介
2回目	働くとは 社会人と学生の違いを認識し、社会人マナーの全般が理解できる
3回目	社会人基礎力 企業が求める人材への到達度が把握できる
4回目	敬語の使い方① 社会人にふさわしい言葉遣い、対話能力の基礎が身に付けられる
5回目	敬語の使い方② 様々なシーンにおいて臨機応変に会話対応能力が発揮できる
6回目	電話対応① ロールプレイングにおいて実践ができる
7回目	電話対応② ロールプレイングにおいて実践ができる
8回目	メールの書き方・送り方① 基本ルールが理解できる
9回目	メールの書き方・送り方② 実際に作成送信ができる
10回目	自己分析・自分を知るとは 自己分析の方法が分かるようになる
11回目	自己分析・自分の特徴(強み・弱み)が理解できる
12回目	自己分析・自己PR 自分の特徴を言語化できる
13回目	就職活動の進め方 求人票の見方 企業研究
14回目	名刺交換のやり方 基本ルールを学び、ロールプレイングにおいて実践ができる
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	日頃から、ニュースや新聞に目を通すようにしてください。
評価方法	課題提出 20% 授業態度40% 筆記テスト40%
受講生への メッセージ	就職活動が本格的になって、基礎的な言語能力で困らないように、今の内からしっかりと、正しい言葉遣いやビジネススキルを学んでいきましょう。言語表現は、急に身に付くものではありません。それだけに、毎回の授業を大切に、無理なく実力を身に付けていってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>都度、資料を配布します。 制服着用で出席してください。</p>	

科目名 (英)	ホスピタリティエコノミクス / コーチングスキル Hospitality Economics / Coaching skills	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	白石 真紀
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>今や、ビジネス上で、コーチングスキルは欠かせないと言われていています。人に関わる仕事をする上で、接脚において、自分のモチベーションを高めるにおいて、ビジネスマナーと共に、学んできましょう。</p> <p>【実務経験】 大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事して20年、担当婚礼件数は2,000組～を更新中。その間に、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校、短大、大学において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なビジネスマナーが身に付く。 ・コーチングに至るまでの基本的な心理学ツールが理解できる。 ・上記のスキルで他者援助、自分のモチベーションアップができるようになる。 							

授業計画・内容	
1回目	特別講義
2回目	オリエンテーション コーチングとは何か？歴史と概要が理解できる
3回目	コーチングの役割とスキル 基本的なスキルについて知ることができる
4回目	コーチングのプロセス ゴール設定、行動計画の立案ができるようになる
5回目	実践的なコーチング技法の紹介 GROWモデル SMART目標設定などが理解できる
6回目	コーチングにおけるコミュニケーション 非言語の重要性を理解し、アクティブリスニングの実践ができる
7回目	エンパワメントとモチベーション 強みを発見し、モチベーションを引き出すことができる
8回目	効果的なフィードバック ポジティブな改善点の指摘ができるようになる
9回目	ケーススタディ グループでのディスカッションで実践が経験できる
10回目	コーチングとリーダーシップ コーチングとリーダーシップの融合が理解できる
11回目	コーチングの応用 ストレスマネジメント等への応用ができるようになる
12回目	セルフコーチングについて 自己理解、目標設定へ自己フィードバックができるようになる
13回目	セルフコーチングの実践 自己分析、目標達成のための行動計画ができるようになる
14回目	セルフコーチングの継続 セルフコーチングを日常に取り入れられるようになる
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	日頃から、ニュースや新聞に目を通すようにしてください。
評価方法	課題提出 20% 授業態度40% 筆記テスト40%
受講生への メッセージ	コーチングは、理論やスキルを理解できると、モチベーションを上げるために、他者はもちろん、自分への活用も可能です。就職もそうですが、仕事も、つねに目標を掲げて達成に向けての実践が必要です。しかし、時には思い通りにいかないこともあるでしょう。その際に、コーチングを活用して、イキイキと自分の人生を生きられることをイメージして、毎回の授業を楽しんでいきましょ。
【使用教科書・教材・参考書】	
都度、資料を配布します。	

科目名 (英)	ヨガ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	木下 かな
	Yoga	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホテルマネジメント						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
 こころのケアをいろんな視点から学び、それに合わせたストレッチを行います、
 また、自分に合うものを体感して現在も社会に出てからも自律できるようにしていきます。

※実務経験：日本航空株式会社にて客室乗務員として1年2か月乗務。
 その他、株式会社Plan・Do・Seeにてウエディングプランナーとして3年4か月勤務勤務経験もあり、マナーやホスピタリティにも精通している。

【到達目標】
 ストレスと向き合い、また自身を見つめてどうケアしていくとよいか、予防することができるようになるか調節できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	呼吸を意識してみよう。マインドフルネスを体感し体と心を休める習慣をつくることができるようになる。
2回目	ストレスとはなにかを学び、避けるのではなくどう付き合うかを考えることができるようになる。
3回目	自律神経とはどういうものなのかを知り、コントロールできるものを知ることでリズムを整えることができるようになる。
4回目	四季により体や心に変化することを知る。それを踏まえて今がどういう状態かを判断できるようになる。
5回目	ホルモンの関係を学び、体やメンタルへどう変化をもたらすのよう備えるかを実践できるようになる。
6回目	冬に向けてどう体やメンタルが変化するかを具体的に学び、冬の体づくりができるようになる。
7回目	自己分析をし、自分を見つめる時間を持つ。個性があることの大事さを知ることができる。
8回目	社会人に求められるもの、学生との違いが何かを知り、社会人としての考え方を身につけることができる。
9回目	立居振舞を学び、それぞれに合う良い姿勢を見出すことができる。
10回目	職場で必要な声掛けやクッション言葉を学び、心遣いを言葉でも表現できるようになる。
11回目	五臓六腑から体の流れを学び、疲れのサインを感じ取ることができるようになる。
12回目	アロマオイルの香りで現在落ち着くものを見つけ落ち着けるものを選択肢を増やすことができるようになる。
13回目	おなかの中から温まり冬休みで感じやすい体と心の疲れを防ぐことができる。
14回目	レポート試験
15回目	
準備学習 時間外学習	※ストレッチがしやすいように、動きやすい服装で参加してください。
評価方法	レポート50%、出席率50%
受講生へのメッセージ	ストレス過多なこの時代、ストレスとどう向き合い、付き合っていけばよいのかをお話しながら、ストレッチをしていきます。体も心も十人十色。自分自身をみつめて、それぞれにあったストレスケアの時間を一緒に過ごしましょう。

科目名 (英)	英会話(スピーキング・リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス) / British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
2回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
3回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
4回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
5回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
6回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
7回目	中間テスト/英検面接実践/課題提出
8回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
9回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
10回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
11回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
12回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
13回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
14回目	期末テスト/中間テスト/英検面接実践/課題提出
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、課題提出40%、中間テスト(面接実践)20%、期末テスト(面接実践)20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本 / 英検5・4・3級合格単語スピードマスター1250 / 10日で出来る中学英語3年分丸ごと総復習 / 英検100%合格にこだわった本 各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate Collaboration Project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	佐野 太一
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】 企業の問題や課題を企業と共に取り組む事により、プロの現場での課題への取り組み方を身に付ける。</p> <p>※実務経験: 大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業課題・問題解決に取り組む。</p> <p>【到達目標】 企業の企画会議に都度参加することにより現場の仕事の進め方を学び、企画立案力、提案力を身に付ける。 そして考案する企画を採用していただくことを目標にする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	(前期から引き続き)企業プロジェクトの取り組み方の確認、各人新プランの確認 (企業ミーティング 10月1日予定)
2回目	10/1_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
3回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 10月15日)
4回目	10/15_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
5回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 11月5日)
6回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 11月5日)
7回目	11/5_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
8回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 10月19日)
9回目	11/19_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
10回目	次回企業ミーティングと最終プレゼンテーションへの準備 (企業ミーティング 12月3日)
11回目	12/3_企業ミーティングの報告と最終プレゼンテーションに向けての準備
12回目	最終プレゼンテーション(12月第3週予定)
13回目	企業プロジェクトの取り組みとプレゼンテーションの振り返り
14回目	年度の振り返り
15回目	試験(レポート提出)
準備学習 時間外学習	前回取り組んだ内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。 ※企業ミーティングに参加する際はスーツ着用、身だしなみを整えて参加すること。
評価方法	① 課題提出とその内容(50%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(50%)
受講生への メッセージ	学んできた技術や知識は、実践で使うことで効果を発揮します。しかしながら知識や技術だけでは解決しないことも実践においては多くあります。 そのためには自らが調べ、考え、それを伝える努力をしなければなりません。その行動力をこの授業を通して身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
適宜配布いたします。	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	佐野 太一
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】 次年度の就職活動に向けて、具体的な活動方法から、実際の受験の試験対策を行っていく。</p> <p>※実務経験:本校キャリアセンター担当として実務と学生指導に従事してきた。</p>							
<p>【到達目標】 就職活動において自分自身の目標を定めて、その準備をこの授業内で就活前に整えて、就職活動の早期エントリー(解禁日:3月1日)し、早期内定獲得を実現します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(就活の進め方等)。
2回目	自己分析と目標設定
3回目	履歴書の確認と具体的企業に向けて
4回目	就活情報の取得から、求人情報の見方を学ぶ
5回目	企業特性を考える(企業情報の取得から企業分析)
6回目	履歴書/エントリーシート作成①
7回目	履歴書/エントリーシート作成②
8回目	履歴書/エントリーシート作成③
9回目	履歴書/エントリーシート作成④
10回目	面接対策①
11回目	面接対策②
12回目	面接対策③
13回目	模擬筆記試験(前期授業の振り返り)①
14回目	模擬筆記試験(前期授業の振り返り)②
15回目	直前対策
準備学習 時間外学習	前回学習した内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。
評価方法	① 課題提出とその内容(50%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(50%)
受講生への メッセージ	3年生前期までに学んだ事を実際の就活に結びつけるために自分自身の3年間まとめになります。ここで真剣に取り組む事で、就活の成功を掴むことが出来るでしょう。想定している就職先の企業レベルをワンランク上に設定することが出来るように取り組み、自信をもって就活に取り組みしましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>適宜配布いたします。</p>	

科目名 (英)	ソムリエ演習 practice of Sommelier	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	増田 鉄平
学科・コース	ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日4時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ウイスキー・スピリッツ・リキュールやその他日本酒・焼酎などの國酒のお酒を幅広く世界各国知識として学ぶこと、サービスの在り方やカクテル作成などを実習を通してできる。</p> <p>※実務経験: 大学在学中にインターンシップにてホテルバーの世界へ。その後ホテルバーにて研鑽を積みバーテンダー業界では25年余りとなる中、現在も老舗バーにて九州代表としてカクテルコンパティションへ出場し数々入賞する。</p>							
<p>【到達目標】 バーでの作法や総合飲料取扱者として、提供の仕方や接客方法を身につけられるようにする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方、授業内容の把握と目標設定。
2回目	【座学】BAR・カクテルについて 【実技】バーテンダーの姿勢、お酒やボトルの扱い方、副材料、氷、グラス、バーツール 等
3回目	【座学】お酒の基礎知識① 【実技】ステア&ビルド 練習 課題 ハイボール、水割り、を作る
4回目	【座学】お酒の基礎知識② 【実技】シェイク 練習 課題ショートカクテルを作る
5回目	【座学】BAR接客について 【実技】接客(来店時、会話、オーダー、メイク、提供、お会計、退店時)& 課題カクテルを作る
6回目	中間テスト対策: バーテンダーとお客さまのグループに分かれて実際BARサービスを想定しトレーニング
7回目	中間テスト: 実技 課題カクテル1杯 (ジンフィズ)
8回目	中間テストの課題を克服
9回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作① テーマ(プロポーズ時に提供するカクテル①~④)で作成する材料等も意見交換する)
10回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作②
11回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作③
12回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作④
13回目	期末試験対策(一人でもカウンターセッティングできるように復習)
14回目	★期末試験 評価週 ※必ずシェイクここまでの授業で習った工程が出来ているか評価
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業に対する教材以外でも出来ることならばどんどんやってみましょう。
評価方法	●期末テスト: オリジナル創作 モクテル1種(ロング・ショート) 課題 1杯(ロング・ショート) 計2杯(予定) 100%(授業態度、身だしなみを含む)
受講生への メッセージ	・飲食業以外でも分からないことなどあれば、気軽に質問してください。少しでも皆様のプラスになるようにして、充実した時間が過ごしていければと考えております。
【使用教科書・教材・参考書】	
HBAバーテンダーズマニュアル	

科目名 (英)	カジノマネジメント / MICE実務 Casino management/Mice Business practice	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	長谷川 耕平
学科・コース	ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 早ければ2030年に大阪に開業するIR(統合型リゾート)。IRはといったどういう施設なのか。IR施設を学ぶため、YouTubeなどにアップされている日本のアニメ、映画など、IRを舞台にした動画を使い、IRやMICEを学ぶ。 また、教員が長年の取材で得た情報や、日本企業はIR開業でどういったことにビジネスチャンスと捉えているのかについても解説。 ※実務経験 2010年(株)オータパブリケーションズ入社。12年から国内テーマパーク担当。13年からIR担当。ホテル編集長を経て、現在は経営調査室 室長。九州IR推進協議会・講師(2021年)。電通、アサヒビール、共同印刷ほか、大企業の社内IR勉強会講師(2017～18年)。東京ホテル・ウエディング&IR専門学校(2022年)。大妻女子大学、東洋大学、獨協大学、大阪学院大学ほか(2017年～)。直近は跡見学園女子大学(2024年)。</p> <p>【到達目標】 カジノ施設やIRは世界約130カ国以上で合法で運営されている。 世界主要国G7でカジノ施設が運営されていないのは日本だけで、カジノ施設は特別な施設ではない。 カジノ＝ギャンブルであることは確かだが、なぜ世界中にカジノがあるのか。 どのようなカジノ施設が成功しているのか。これから日本にカジノ・IRができるとしたら、どのような施設であったら、日本人も行ってみたいと思うのか。 本講座を受講して、「IR/カジノビジネス＝観光ビジネス」の1つと捉え、観光業は幅広い企業で成り立っていると意識できるレベルを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目 (9/26)	自己紹介・他己紹介、授業の目的、受講生から見て、日本にMICE誘致や、IR開業は必要なのかをディスカッション
2回目 (10/3)	統合型リゾート産業とは
3回目 (10/10)	シンガポール編／日本がお手本とするシンガポールのIRは何が違うのか
4回目 (10/17)	マカオ編／実は世界で1番ラグジュアリーホテルが密集するIR
5回目 (10/24)	実技授業 ★牧尾 理央先生
6回目 (10/31)	ラスベガス編／究極の地方創生！ 砂漠の町が、カジノで大都市に変貌！
7回目 (11/7)	韓国編／カジノ先行のIRは失敗！ ノンゲーミングの重要性を示した韓国IR
8回目 (11/14)	欧州編／カジノ施設はカジュアルな社交の場。外交の場として、国が管理するカジノリゾートも存在する
9回目 (11/21)	実技授業 ★牧尾 理央先生
10回目 (11/28)	実技授業 ★牧尾 理央先生
11回目 (12/5)	日本編／日本のIRはMICE型？ エンタメ型？ それとも…？
12回目 (12/12)	MICE編／MICEを呼び込むには何が必要か？ もし福岡市内に国際的なMICEを誘致できた際、課題となることは何か？
13回目 (12/19)	宿泊業界編／データから見る、日本と海外宿泊業の風潮と将来展望
14回目 (1/16)	★評価週 試験出題
15回目 (1/23)	まとめ、振り返り
準備学習 時間外学習	YouTubeやSNS等で、「ラスベガス」「マカオ」「カジノ」などのキーワードで検索すると、さまざまなIRを舞台にした作品が出てきます。 授業の予習や復習として、自身が気になったキーワードで、いろいろ検索してみてください。
評価方法	筆記試験100% 参考に提出レポート等 評価。
受講生への メッセージ	早ければ2030年に、日本版IRの第1号、大阪IRが開業します。IR施設の運営は、MGM(米国)とオリックス(日本)の共同事業です。 現在の日本のIR法では、大阪を含めて3つのIR施設の運営を認めています。 カジノ施設はクルーズ船内にもあることから、「カジノ＝悪」ではなく、「カジノ＝ビジネス」の1つと捉えて授業をします。
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>【使用教科書】・「YouTube」IRを題材にした映画、アニメ、MV(ミュージックビデオ)のショートムービー等を使って、IRを学びます。 例)劇場版『名探偵コナン 紺青の拳(フィスト)』、E-girls『Love ☆ Queen』など 【参考書】・書籍「ホテルビジネス」(発行:クロスメディア・パブリッシング/著:林田研二)第8章「カジノは日本のホテルの付加価値となるのか」に寄稿(長谷川) ※授業中、個人のPCやタブレットを使っていただいてもOKです</p>	

科目名 (英)	ワイン学Ⅱ / ワイン解説Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田辺 大気
	Study of Wine Ⅱ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホテルマネジメント				2	曜日・時限	
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 前期で学んだワインに関する基礎知識をさらに深く学び、実践形式での授業を行い即戦力となれることを目指す。</p> <p>※実務経験：2009年株式会社ホテルオークラ福岡入社。宴会場3年、バーに11年勤務し飲食サービスに従事。ソムリエ資格、バーテンダー資格、レストランサービス技能資格などを取得。在籍中、カクテルコンテストに出場、ホテル内のワイン教室カクテル教室など講師を担当。メンバーにてアシスタントマネージャー。店舗管理・後進の育成に努める。2023年3月退職。同年4月に福岡市内にてバーを開業。現在に至る。 事務局を務める日本ホテルバーメンス協会九州支部より派遣され今回講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】 ワインに関する歴史、各国のワインについて学ぶ。 前期に学んだ範囲をより詳しく掘り下げる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ワイン醸造概論 世界のワイン生産量・消費量
2回目	ワイン生産国① フランス ボルドー地方
3回目	ワイン生産国② フランス ブルゴーニュ地方
4回目	ワイン生産国③ フランス シャンパーニュ地方・ロワール地方
5回目	ワイン生産国④ フランス 山岳地帯産地(アルザス・ジュラ・サヴォワ)
6回目	ワイン生産国⑤ フランス 地中海沿岸の産地(プロヴァンス・コルス・ラングドググ＝ルーション) シュド＝ウェスト地方
7回目	ワイン生産国 イタリア
8回目	ワイン生産国 スペイン ポルトガル
9回目	ワイン生産国 ドイツ オーストリア スイス ハンガリー
10回目	ワイン生産国 アメリカ カナダ
11回目	ワイン生産国 オーストラリア ニュージーランド
12回目	ワイン生産国 日本
13回目	復習・ディスカッション・小テスト
14回目	試験
15回目	試験の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まずはワインに親しみましょう。 ワイン以外のことで、レストラン・バー・ホテルに関することは何でも質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師作成資料(参考文献:日本ソムリエ協会教本 HBAオフィシャルバーテンダーズブック)	

科目名 (英)	レベニューマネジメント Revenue management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどのように変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からホテルマネジメントの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為に数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在11期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>レベニューマネジメントは航空業界から始まり、今やあらゆる業種において活用され、ダイナミックプライシングやイールドマネジメント等と名を変えて進化し続けている。特にAIによってホテル販売価格など決定されるが、その背景を認識し、ホテル客室料金設定の仕組みを知る事。また、合わせて日常的にホテル内で使用される数値計算を解答できるように指導する。多くのホテルではオペレーティングに関しては教務深く意欲も沸くが、ホテルを企業経営として深く認識し、利益の最大化を図る為のマネジメント意識を上げる事。</p>							

授業計画・内容	
第1回	レベニューマネジメントとは何か その原理原則を知り、RM(レベニューマネジメント)の目的が理解できる RM1からのまとめ復習
第2回	収益管理の商品特性と市場が理解でき、RMの重要性を知る事ができる
第3回	戦略的価格設定 マーケティング分析4Pにおける価格の重要性を知り、日常的に見る商品価格の背景を考えることができる
第4回	価格設定にあたり、価値の果たす役割を考える。品質と価格、サービスと価格の関係性を考えることができる
第5回	レベニューマネジメントの10原則を知ること、次週に続くレベニューマネージャーの役割を知ることができる
第6回	レベニューマネージャーの役割 と レベニューマネジメントの工程を認識することができる
第7回	需要予測の重要性 近未来を予測することが企業にとっていかに重要かを理解することができる
第8回	在庫と価格管理 具体的なRMの実態はAIが処理するが、その仕組み概要を理解することができる
第9回	流通経路管理 客室販売の流通経路別の管理と自社サイトの適切な管理法を理解することができる
第10回	宿泊産業のレベニューマネジメント実績評価 RevPARが上昇しても利益が減少した事例の訳を考える事でコストを理解することができる
第11回	飲食業界のレベニューマネジメント 宿泊業と比較しながら、飲食業でのRMを知ることができる
第12回	飲食業界のレベニューマネジメント実績評価
第13回	レベニューマネジメントの応用事例 宿泊・飲食 以外での事例を探り、未来ビジネスの中でRMの生かされ方を考えることができる
第14回	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
第15回	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	基本的にWebsite情報を元に、色んな情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から...であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面ではなく、社会のニュースやホテル事業施設周辺マーケットや流通サービス業の価格設定等も常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し学びは日常の中に沢山あり、それに気づく事が重要です。s.いる 又、PCやタブレットは単なる道具ですが、当然ながら道具を使いこなすPCスキルも必要です。 現実のレベニューマネジメントの料金設定の多くはAIが様々な過去のデータや近未来の予測データを分析し数値提案されます。私たちはRMの数値提案されるまでの仕組みを理解し、ホテルマーケティング上重要な運営手法であることを学びます。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	Revenue Management Yield Management Dynamic Pricing の言葉や手法が頻繁に登場する世の中です。その原理原則を学ぶことでホスピタリティ産業ではどのように活用されているかが、認識出来ます。ホテル業界は勿論「おもてなし」の精神と技術は必要ですが、一方では冷静な判断でマネジメントする能力が必要です。つまり、「Cool Head & Warm Heart」冷静な分析判断能力と、優しい暖かいおもてなしの心のバランスが必要です。産業情報にアンテナを張って沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生使用テキスト無し ・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 <p>※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します</p>	

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅡ Hotel managementⅡ / Hospitality management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】 ホテルに限らず、ビジネスは利益と経費の相関関係である。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として 持ち、ホテルレストラン業界マネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの解読分析が出来るレベルを到達とする 又、昨今の都市開発にはオフィス施設と商業施設とホテルの3点セットが中心になっている中で、都市開発とホテル開発との関連等を調査研究し、宿泊施設の必要性を認識理解すること</p>							

授業計画・内容	
第1回	ホテル業のSDGsの取り組みを探り、近未来の宿泊業の姿を予測する事が出来る
第2回	ホテル運営形態別の収支シュミレーションをする事で形態別の特徴が理解できる
第3回	ホテルを不動産と見るか、オペレーションと見るか、収益会社と見るかの見方によって学びの内容も変わることを知ることが出来る
第4回	ホテルが不動産として注目される背景を知ることが出来る。
第5回	マーケティングでの売れる仕組み GD 時代と共に移行行くマーケット 10年後のマーケットは何だ? を自ら感じ、考える事が出来るようになる
第6回	ホテルマーケティング手法とは 具体的手法例 分析手法の概要を知ること 戦略は全て分析から派生するものだと理解する事が出来る
第7回	マーケティングを構成する4P GD モデル施設シュミレーション 4Pの考え方を色んな場面で想像することが出来るようになる
第8回	市場と顧客の考え方 マーケットとは ホテルマーケティングに対するマーケットの考え方が理解できる様になる
第9回	マーケティングにおける販売促進活動とは何かを理解し、一段とホテル業界の販促に関心を高める様になる GD
第10回	ホテルの事業特性とマーケティング ホテル商品の特性は? を考える事で、他業界との相違点を理解することが出来る
第11回	多様化するホテル形態 異業種参入の宿泊事業 宿泊業の未来を考え、予測することで自らのポジションを認識する事が出来るようになる GD
第12回	AIDMAモデルとブランド戦略 マーケティング分析手法を理解することで多くの商品の背景には分析結果の商品開発がある事を知ることが出来る
第13回	Web&SNSマーケティングの重要性を知り、その手法を深掘りする機会を持つことができる
第14回	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
第15回	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。レストランマネジメント授業と連動して自分ホテルの事業計画と経営シュミレーション体験を実施する。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。ホテルマネジメントでもコストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事では無く、無駄を省きあるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。ホテル旅館業界の人手不足が取りざたされる昨今ですが、切実に不足するのはマネジメント人材です。ホテル業は元より観光産業全般に関心を寄せ、観光立国ニッポンの為に沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生使用テキスト無し ・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcel使用をします	

科目名 (英)	英会話(スピーキング・リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	坂田未央 / はなだ 東砂
学科・コース	ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講義内容:すでによく知っている学生のみなさんの、それぞれの実力や到達度に合わせて、各自の英検レベルに合わせた受験指導を細やかにしていきます。前期に引き続き、動画や歌など興味をもてるトピックなどもはさみつつ、国際社会で通用する英語力を身に付けることができる授業をおこないます。</p> <p>※実務経験:2020年より滋慶学園にて、TOEIC指導、英検指導、英文法の授業を、オンラインと対面の両方でおこなってきた。また私塾にて延べ80名の小学生～大学生の英語指導をおこなう。翻訳・通訳の実務経験豊富。東京外国語大学英米語学科卒業。TOEIC970点 英検1級。</p>							
<p>【到達目標】 各自が目指す英検レベルの合格を目指し、読む、聴く、話す、書く、の4技能を身に付けることを目指します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ご挨拶とこれから半年の目標を確認することで、英語力をあげるためのやる気を高めることができる。
2回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
3回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
4回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
5回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
6回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
7回目	簡単な意見や考えを英語で表現することができる。
8回目	簡単な意見や考えを英語で表現することができる。
9回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
10回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
11回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
12回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
13回目	期末テストのための対策時間。質疑応答をすることによりこれまでの復習がじゅうぶんにできる。
14回目	期末テスト
15回目	テストの返却、解説。動画視聴などのおたのしみ会
準備学習 時間外学習	毎回授業のはじめに、前回の復習として単語や表現についてあてて質問します。しっかり答えられるように復習しておいてください。
評価方法	毎回の授業態度とパフォーマンス:3割 期末テスト:7割
受講生への メッセージ	社会人になってから「あの時にもっと勉強しておけばよかった」と英語の勉強をしないおす社会人はとても多いです。時間がある学生時代のうちに、できるかぎり英語のスキルを磨いて、社会に出てから役立てるようになってください。応援しています。
【使用教科書・教材・参考書】	
旺文社「7日間完成」シリーズ、「過去問6回」シリーズ 講師による手製のプリント類	

科目名 (英)	空間コーディネート演習 他 Spatial coordination	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	熊崎 容子 / 綾垣陽子 / 菊池倫子 / 他
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【学習内容】</p> <p>広い空間のディスプレイやテーブルコーディネート等、空間の特徴や季節感を踏まえた演出を学ぶ。(花) 器の歴史を知り、テーマ別の組み合わせ、テーブルコーディネートについて学習する(器) アロマテラピー、精油について学び、香りの提案と使用例について学習する(アロマ・香り) 実際の施設や空間のデザインを手がける企業の講義を通して、空間デザインに関する基礎を学ぶ。(デザイン)</p> <p>※実務経歴</p> <p>長くフラワーデザインに関わり、ウェディングの花装飾にも関わって来ました。10年以上、ステージの花装飾を担当しています。(花) テレビ、ラジオの料理番組・JA提供番組を担当。結婚式場や料理教室、カフェなどのシーズン毎のメニュー選定、テーブルコーディネートに携わる。紅茶講師としても企業イベントを開催。また、25年間プライダグMCを務め、3000組以上の披露宴を担当。(後垣)</p> <p>NARD JAPAN認定アロマアドバイザー資格認定校 アロマ&ヘッドスパサロン・スクールSOLEIL (株)Hide&Seekアロマ記事監修 (株)通販会社「さくらの森」アロマ商品開発監修などアロマに関する経歴、実績多数。(菊池)</p>							
【到達目標】							
<p>広い空間のディスプレイやテーブルコーディネートを理解し、考え、制作できる。(花) テーマに合わせたテーブルコーディネートができるようになる(器) 環境に合った香りの提案ができるようになる(アロマ・香り) 空間デザインに必要な考え方や視点を学ぶことができる。(デザイン)</p>							

授業計画・内容	
1回目	9月25日 1限 特別講義(市丸先生)
2回目	9月25日 2限 特別講義(市丸先生)
3回目	10月2日 装花①(熊崎先生)
4回目	10月9日 装花②(熊崎先生)
5回目	10月16日 装花③(熊崎先生)
6回目	10月23日 空間デザイン①(デザイン企業)
7回目	10月30日 空間デザイン②(デザイン企業)
8回目	11月13日 空間デザイン③(デザイン企業)
9回目	11月20日 器① 器の歴史・種類・テーマ別の組み合わせについて学ぶことができる。
10回目	11月27日 器② 最先端のプライダグのテーブルコーディネートについて学ぶことができる。
11回目	12月4日 器③ テーマに合わせたコーディネートを考え、アウトプットできるようになる。
12回目	12月11日 アロマ・香り① アロマテラピーについて、精油の基礎知識、香りが心身に与える影響について学ぶことができる。
13回目	12月18日 アロマ・香り② 精油の伝達経路、アロマブレンドのコツについて学ぶことができる。
14回目	1月15日 アロマ・香り③ 環境にあった香りの提案と香りの使用例について学ぶことができる。
15回目	1月22日 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	・各分野 授業態度(40%)+課題(60%)=100% ※各分野の評価を合計した平均で最終評価の点数とします。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEBマーケティング marketing of web / Hospitality marketing basic	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	常井 大輝
学科・コース	ホテルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>Webマーケティングとは何かを知る。そして実際に行ってみる。SNS(Instagram)の投稿、リール、ストーリーをはじめ、それらのアクセス分析などを中心に行い、SNS活用したPRを実際に体験する。アカウントはアクセス分析するために講師常井の会社(Hospitality Bridge)のInstagramビジネスアカウント(もしくは自分のアカウントでも可)、投稿内容は授業の様子や、生徒の活動の様子、地元を紹介したいお店、福岡・九州のおすすめスポットなど自由に考えてもらい、社会的にどんな投稿が反応がいいか知ってもらう。デザインアプリを活用しながら、制作物を作っていく。SNS PRだけでなく、宿泊施設の販売サイトの設定やどのようにホテルが販売されているかを実際の管理画面を参考にホテルのセールスマーケティングの世界に触れってもらう。人の購買プロセスなども理解し、適宜戦略を考えていく。</p> <p>※実務経験：米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体向けセミナーなどを行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>Webマーケティングの世界を理解し、観光、ホスピタリティ業界はサービスの世界だけではないことを知ってもらう。Webマーケティングの基本手順を学びながら実践してみる。デザインアプリなどを使って自由に投稿、リール、ストーリーを作成してみよう。アクセス解析をしてみる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 クラスの流れの説明 Webマーケティングとは何かを理解する。Webマーケティングの手順を知る。目標設定、ペルソナ設定、カスタマージャーニー、施策選定、KPI設定、集計、アクセス解析
2回目	目標設定をしてみる。
3回目	ペルソナとは？ターゲットを決める。企業を選びその企業のターゲットを考察しレポートを作成する。
4回目	カスタマージャーニーとは？導線の把握と設置。購買プロセスとは何かを知る。購買プロセスの一つを選び、実際のビジネスと照合してレポートを作成する。
5回目	施策策定を行う。Webメディアを知る。それぞれの特徴、長所と短所を理解する。第3回で選んだ企業はどのようなWebメディアを使っているか調べレポートを作成する。
6回目	施策策定の手段を把握する。Web広告を探す。広告の目的や企業の意図を考える。第3回で選んだ企業はどのようなweb広告を使っているかレポートする。
7回目	施策：デザインアプリcanvaと動画作成のcapcutの紹介。Instagram投稿をデザインして投稿する準備。
8回目	施策：Instagram投稿を作成デザインする。投稿予約をする。
9回目	施策：宿泊施設の裏側。セールスとマーケティングの仕事を知る。宿泊施設の販路拡大。OTAとは。OTAの特徴について比較しペルソナ、ターゲット、カスタマージャーニー、施策などを考える。
10回目	施策：ストーリーやリールを作成してみる。ストーリー予約をしてみる。Instagramアクセス解析1
11回目	施策：Ghat GPTを使ってみる。AIを使って文章構成。SEO対策にも役立つ。
12回目	集計：定量分析と定性分析を知る
13回目	アクセス解析：Instagramのプロアカウントに投稿した前と後の変化があるか調べてみる。
14回目	最終課題への準備
15回目	最終課題：自分自身もしくは自分がやってみよう仕事、興味があることを考えてwebマーケティングの企画書を作りプレゼンテーションしてみよう。
準備学習 時間外学習	第15回の最終課題のプレゼンテーションに向けて期間中、自分ならどのように進めるか考え続けてください。学んだことをその後に企画書に反映させてみましょう。
評価方法	授業内容に沿った企画書が作成できているか。論理的な企画書になっているか。(40%) レポートはまとまっていたり、考察されているか、遅れていないか。(40%) 期末テスト(20%)
受講生への メッセージ	Webマーケティングはとても広い分野です。実際の仕事に触れたり考えたりすることでその存在を身近に感じてください。
【使用教科書・教材・参考書】	